

白山市多文化共生のまちづくり推進指針
(改訂版)



2026年（令和8年）4月



白山市

目 次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 第1章 推進指針の改訂にあたって | 1 |
| 1. 改訂の主旨 | |
| 2. 推進指針の位置づけ | |
| 3. 国や県の動向 | |
| 3. 推進指針の期間 | |
| 第2章 白山市の現状と課題 | 4 |
| 1. 白山市の現状 | |
| 2. 白山市多文化共生のまちづくり推進指針（令和2年版）施策の評価 | |
| 3. 課題整理と今後の取り組みの方向性 | |
| 第3章 多文化共生推進に向けた取り組み | 21 |
| 1. 基本理念 | |
| 2. 基本目標 | |
| 3. 施策の体系 | |
| 第4章 施策の展開 | 23 |
| 基本目標1 外国人も日本人もともに安全・安心に暮らす環境づくり | 23 |
| 基本施策（1）円滑なコミュニケーション環境の実現 | |
| （2）子育てのサポートと子どもの教育環境づくり | |
| （3）安全・安心な生活環境づくり | |
| 基本目標2 多文化共生の意識づくり | 26 |
| 基本施策（1）多文化共生の理解促進 | |
| （2）外国人住民と日本人住民の交流機会の創出 | |
| 基本目標3 国際性を育み多様化に対応した地域づくり | 28 |
| 基本施策（1）多文化共生・国際化推進に関わる人の育成 | |
| （2）外国人住民の社会参画促進 | |
| （3）文化を通じた国際交流の推進 | |
| 第5章 推進にあたって | 30 |
| 1. 推進体制 | |
| 2. 進行管理 | |
| 参考資料 | 32 |
| ● 用語解説 | |
| ● 日本人住民対象アンケート結果 | |
| ● 外国人住民対象アンケート結果 | |
| ● 企業対象アンケート結果 | |
| ● 多文化共生ワークショップ結果 | |
| ● 多文化共生推進庁内連絡会 | |

「多文化共生」とは

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

（平成18年総務省）

第1章 推進指針の改訂にあたって

1. 改訂の主旨

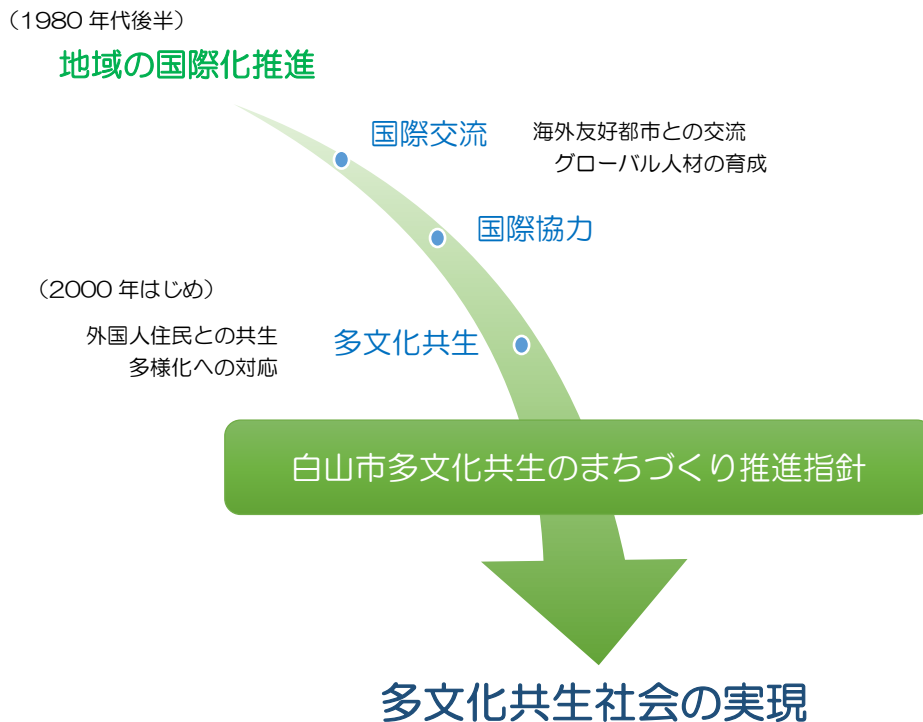
本市では、2020年（令和2年）10月に外国人住民を取り巻く様々な現状と課題を整理し、「市民や地域がグローバル感覚と思いやりにあふれ 国籍に関係なく誰もが安心して元気に暮らせるまち」を基本理念とした「白山市多文化共生のまちづくり推進指針」（以下、「推進指針」という。）を策定しました。

「推進指針」策定から5年が経過し、この間、本市の外国人住民数は、2025年（令和7年）末日現在、2,203人、市全体の人口に占める割合は1.96%であり、策定時の2020年（令和2年）時の割合は、1.36%であったことから、わずか5年で外国人住民の比率が大きく増加しており、今後も増加傾向が続くものと予想されます。また、新型コロナウイルス感染症以降の社会情勢も大きく変化しており、2024年（令和6年）1月1日に発生した能登半島地震は記憶に新しいところであり、災害の頻発化・激甚化が今後も懸念されるところです。

このような社会情勢の変化に対応し、外国人住民や日本人住民を取り巻く環境及び外国人を雇用する企業・事業所のニーズ等を把握するとともに、これまでの取り組みの成果を検証し、この度、「推進指針」の見直しを行うものです。

同改訂により、本市の状況に合わせた多文化共生施策の更なる充実を図るとともに、国籍に関係なく誰もが安心して元気に暮らせる多文化共生のまちづくりを目指します。

国際化推進と多文化共生のまちづくりイメージ



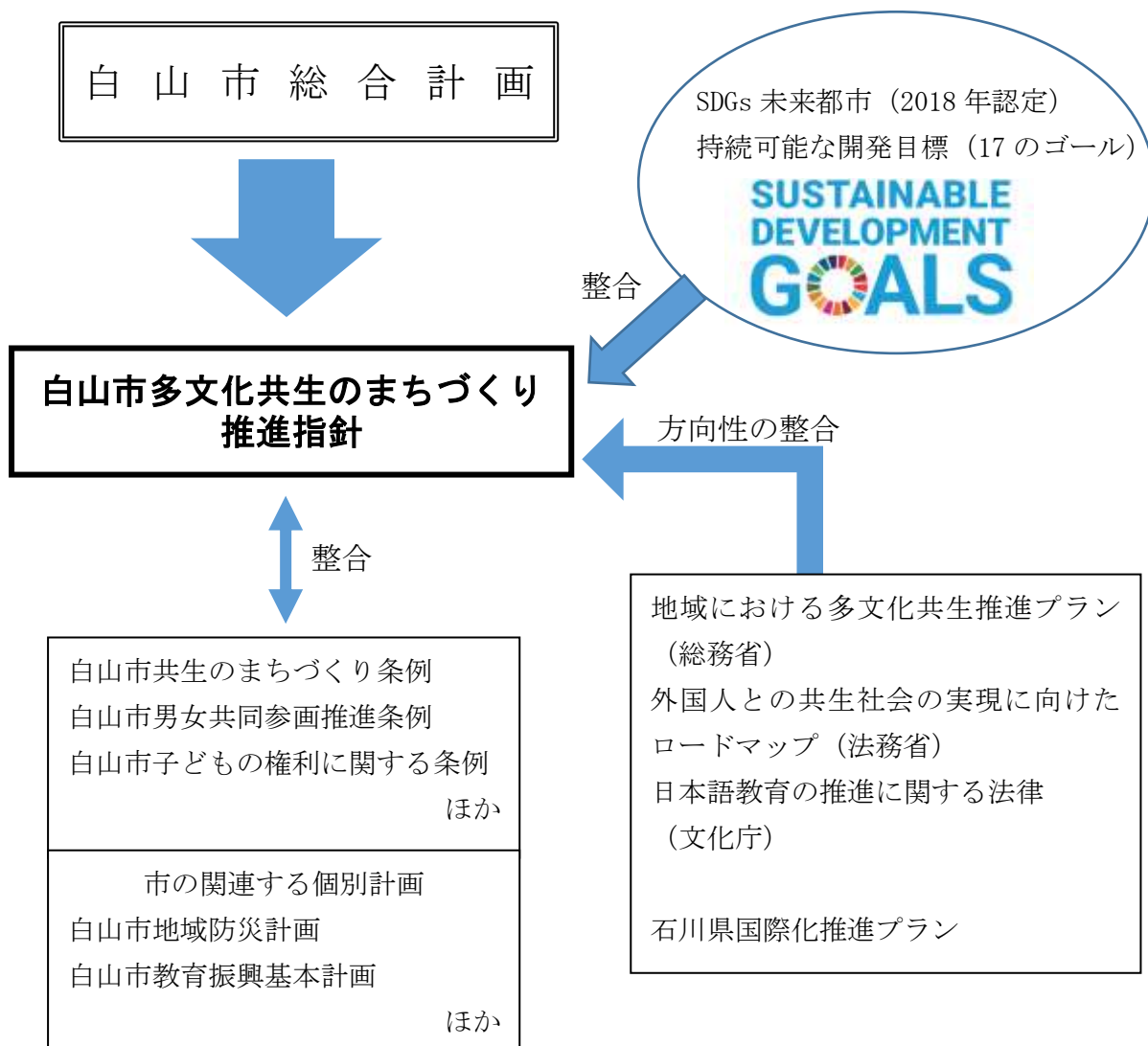
2. 推進指針の位置づけ

この推進指針は、本市の最上位計画である「第二次白山市総合計画」に基づき、本市における多文化共生を推進する施策の方向性を示すものとして位置づけています。

また総務省の「地域における多文化共生プラン」（2006年（平成18年）3月策定、2020年（令和2年）9月改訂）を踏まえるとともに、同じく国の「外国人材受入れ・共生のための総合的対応策」（2018年（平成30年）12月策定、2020（令和2年）7月改訂）や「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ」（2022年（令和4年）6月策定）、県の「石川県国際化推進プラン」（2016年（平成28年）3月策定）及び市の関連する条例や計画等との整合を図っています。なお、日本語教育に関する内容方針もこの推進指針と一体的にしております。

さらに、本市は2018年（平成30年）に、国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」の未来都市として選定されており、SDGsの「誰一人取り残さない、多様性を尊重し、すべての人々が豊かに生きられる社会」実現のためのゴールとも整合性を図っています。

推進指針と関連する計画等との整合



3. 国や県の動向

【国際交流や多文化共生に関する国の主な動き】

- 地方公共団体における国際交流のあり方に関する指針（昭和63年2月）
⇒地方公共団体による国際交流を推進するための指針。
- 改正出入国管理及び難民認定法（改正入管法）（平成2年6月）
⇒「定住者」の在留資格が創設され、日系3世まで就労可能な地位が与えられた。
- 地域における多文化共生推進プラン（平成18年3月）
⇒地方自治体において、多文化共生の推進に関する指針、計画を策定する際に参考となる考え方を整理したもの。この時に「多文化共生」が定義づけられた。
- 改正入管法および改正住民基本台帳法（平成21年7月）
⇒外国人登録制度が廃止され、外国人住民についても、日本人と同様に住民基本台帳法の適用対象となった。
- 外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策（平成30年12月）
⇒外国人材の受入れ・共生に関して、目指すべき方向性を示したもの。「生活者としての外国人」支援策が盛り込まれている。
- 改正出入国管理及び難民認定法（改正入管法）（平成31年4月）
⇒深刻な人手不足の状況に対応するため、一定の専門性・技能を有し、即戦力となる外国人材として、新たな在留資格「特定技能」を創設し、外国人労働者の受け入れ拡大を開始。
- 日本語教育の推進に関する法律（令和元年6月）
⇒在住外国人の日本語教育が、国・地方公共団体及び事業主の責務となる。
- 外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ（令和4年6月）
⇒目指すべき外国人との共生社会のビジョンと重点項目を取り上げる。
- 改正入管法及び育成就労法（令和7年9月）
⇒就労を通じた人材育成及び人材確保を目的とする新たな育成就労の在留資格を創設。
令和9年4月1日より運用開始する。

【国際交流や多文化共生に関する県の主な動き】

- 石川県国際化推進プラン（平成28年3月）
⇒外国人住民の増加に対応するため、言語・文化の違いを越えて共に暮らす多文化共生社会の実現を目指す。多文化共生の推進と国際交流の活性化を図る取り組み。

4. 推進指針の期間

改訂後の推進指針については、社会情勢の変化や法制度の改正、各種施策の進捗状況などを検証し、必要に応じて見直しを行うなど柔軟に対応していきます。

なお、各種施策の進捗状況及び外国人住民を取り巻く現状把握については、今後5年毎を目途に検証することとします。

第2章 白山市の現状と課題

1. 白山市の現状

(1) 外国人住民数の推移等

本市の外国人住民数は、2025年(令和7年)12月末現在で2,203人と、全人口の1.96%を占めています。新型コロナウイルス感染症の拡大により海外渡航の制限がなされた2020年(令和2年)、2021年(令和3年)には一旦減少しましたが、感染症が収束に向かうと再び増加に転じ、現在は年間約200人ペースで増えています。(図2-1、表2-1)外国人住民の年齢階層別は、5年前と変わらず20歳～39歳が全体の約8割を占めています。(図2-2)

図2-1 外国人住民数等の推移

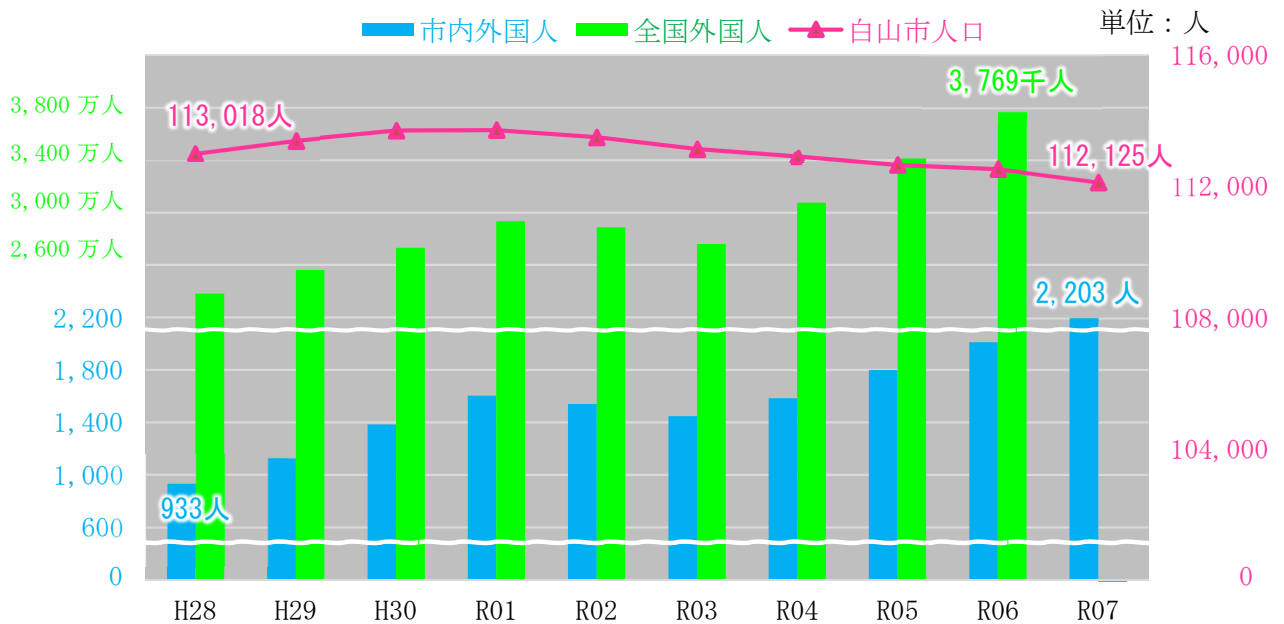
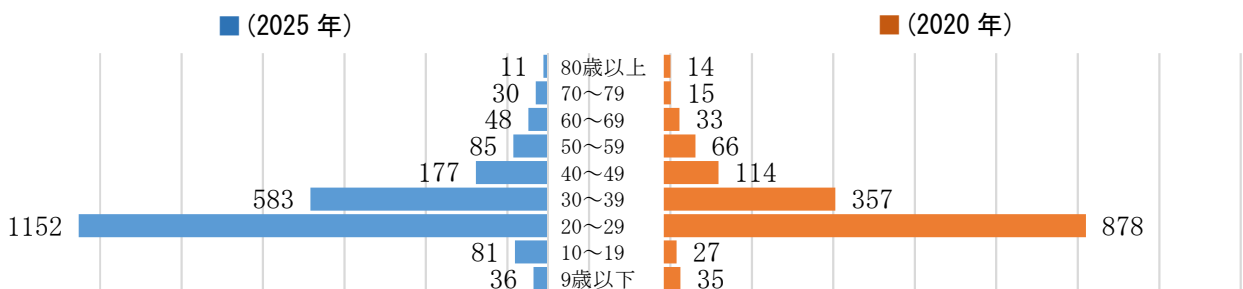


表2-1 外国人住民数と外国人比率(各年12月末現在)

表2-1 外国人住民数と外国人比率(各年12月末現在)

| | H28 | H29 | H元 | H31 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 総人口 | 113,018 | 113,410 | 113,700 | 113,715 | 113,496 | 113,136 | 112,916 | 112,652 | 112,524 | 112,125 |
| 外国人住民数 | 933 | 1,126 | 1,384 | 1,604 | 1,539 | 1,448 | 1,583 | 1,799 | 2,010 | 2,203 |
| 外国人割合 | 0.83% | 0.99% | 1.22% | 1.41% | 1.36% | 1.28% | 1.40% | 1.60% | 1.79% | 1.96% |

図2-2 外国人年齢層別人口



(2) 国籍の状況

この5年間における白山市における国籍別外国人住民数の推移（各年12月末時点）をみると、2020年（令和2年）では、ベトナムが全体の49%を占めていました。

近年では、ベトナムが変わらず増加傾向にある一方、中国が減少に転じています。代わりに、東南アジアの国々が増えており、特にインドネシアが急増しています。国籍数はここ5年で大きな変化はなく、多国籍の状況が続いています。（図2-3、図2-4）

図2-3 国籍別住民数

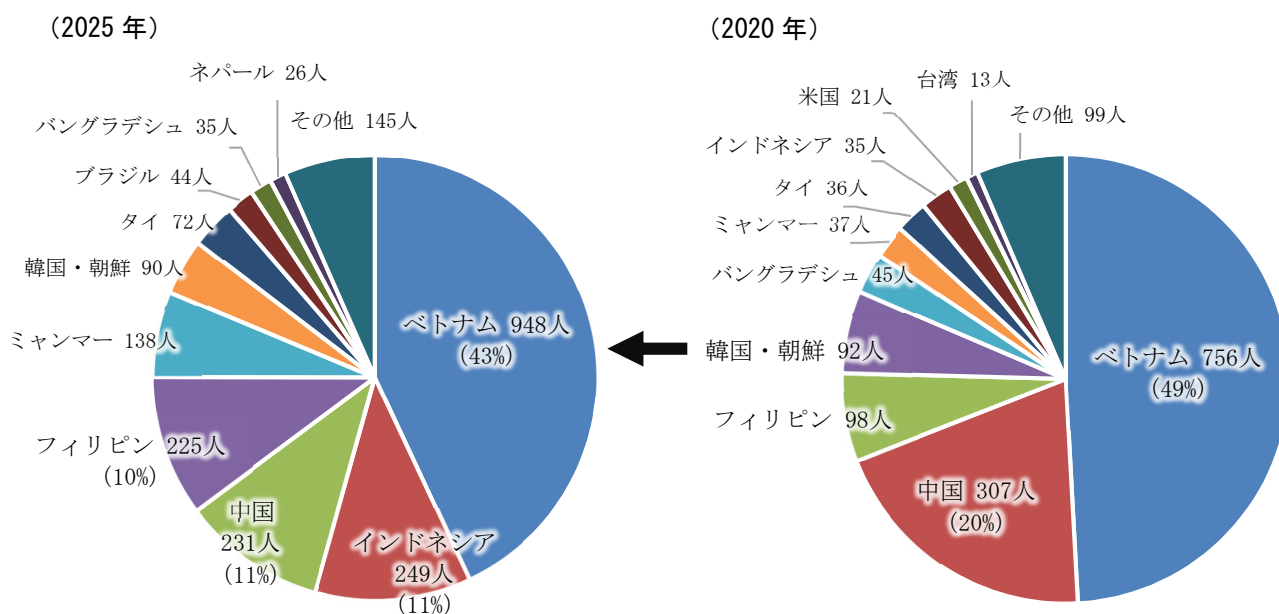
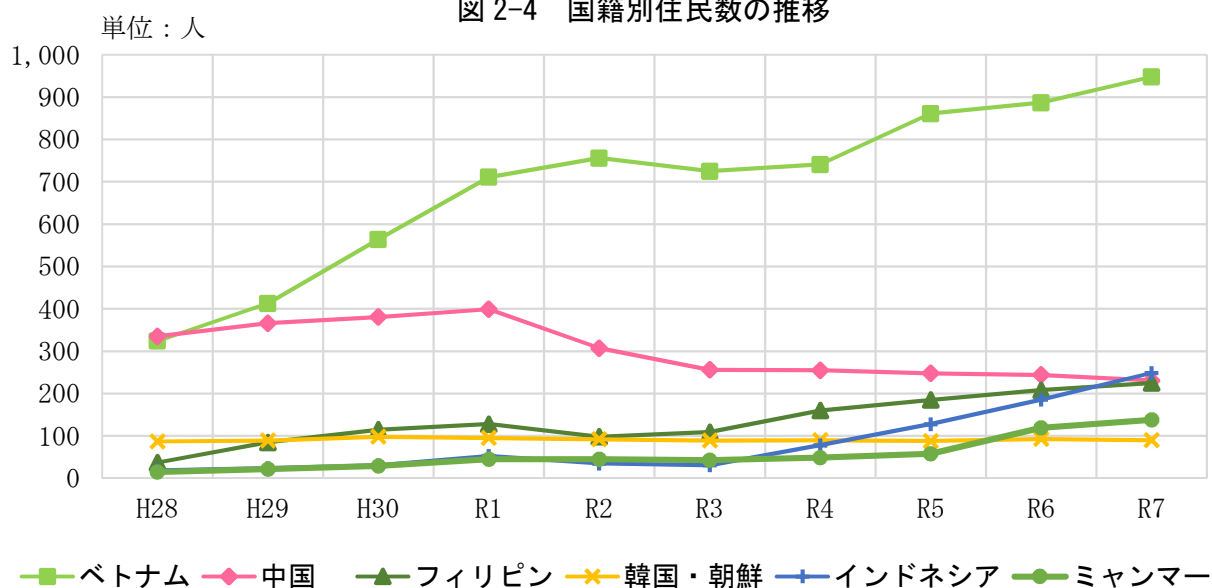


図2-4 国籍別住民数の推移



(3) 在留資格の状況

本市の外国人住民は「技能実習生」が多いことが特徴であります。近年では「技能実習生」の割合は59.1%（2020年）から42.9%（2025年）に減少しており、「特定技能」が1.6%（2020年）から22.2%（2025年）に急増しています。（表2-2、図2-5）

表2-2 市内外国人住民の在留資格の状況

| (2025年) | | | (2020年) | | |
|----------|-------|--------|----------|-------|--------|
| 在留資格 | 人数(人) | 割合 | 在留資格 | 人数(人) | 割合 |
| 技能実習生 | 946 | 42.9% | 技能実習生 | 909 | 59.1% |
| 特定技能 | 489 | 22.2% | 永住者 | 214 | 13.9% |
| 永住者 | 252 | 11.4% | 特別永住者 | 74 | 4.8% |
| 技術・人文・国際 | 184 | 8.4% | 技術・人文・国際 | 60 | 3.9% |
| 特定活動 | 85 | 3.9% | 家族滞在 | 38 | 2.5% |
| 特別永住者 | 67 | 3.0% | 日本人の配偶者等 | 33 | 2.1% |
| 家族滞在 | 52 | 2.4% | 特定技能 | 24 | 1.6% |
| その他 | 128 | 5.8% | その他 | 187 | 12.2% |
| 計 | 2,203 | 100.0% | 計 | 1,539 | 100.0% |

図2-5 市内外国人住民の在留資格構成比等

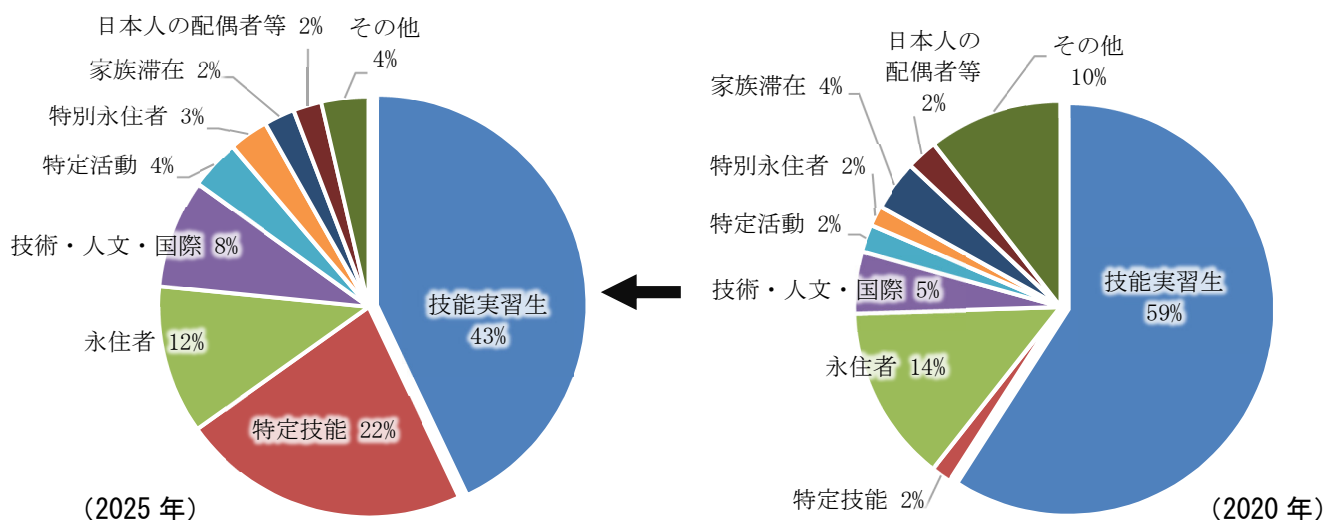


表2-3 在留資格による国籍比率（2025年12月末）

| 【技能実習生】 | | | 【特定技能】 | | |
|---------|-------|--------|--------|-------|--------|
| 国籍 | 人数(人) | 割合 | 国籍 | 人数(人) | 割合 |
| ベトナム | 459 | 48.5% | ベトナム | 298 | 60.9% |
| インドネシア | 163 | 17.2% | インドネシア | 54 | 11.0% |
| フィリピン | 152 | 16.1% | 中国 | 36 | 7.4% |
| その他 | 172 | 18.2% | その他 | 101 | 20.7% |
| 計 | 946 | 100.0% | 計 | 489 | 100.0% |

(4) 地区別の在住状況

本市の外国人住民を地区別で見ると、5年前と変わらず石川地区が最も多く、地区人口に対する外国人割合は6.97%（2025年）となっています。これは、技能実習生が多く働く石川工業団地が同地区にあることが要因です。また、外国人割合が2%を超える地区は、5年前には3地区しかありませんでしたが、この5年で10地区にまで増えています。

(人口：人) 図 2-6 地区別の外国人住民数と人口割合（2025年12月末）

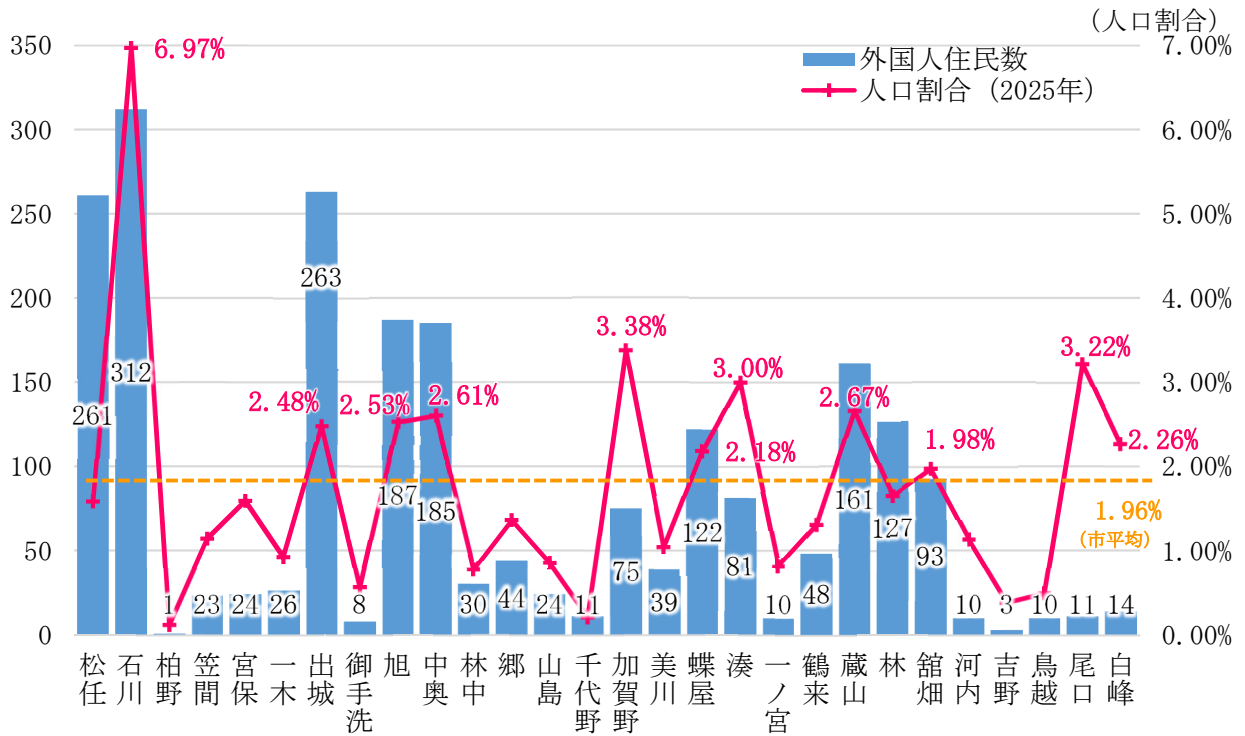


表 2-4 地区別の外国人住民数と人口割合の推移

(松任地区)

| | 地区名 | 松任 | 石川 | 柏野 | 笠間 | 宮保 | 一木 | 出城 | 御手洗 | 旭 | 中奥 | 林中 | 郷 | 山島 | 千代野 | 加賀野 |
|-------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 2025年 | 外国人住民数 | 261 | 312 | 1 | 23 | 24 | 26 | 263 | 8 | 187 | 185 | 30 | 44 | 24 | 11 | 75 |
| | 人口割合 | 1.58 | 6.97 | 0.12 | 1.14 | 1.59 | 0.92 | 2.48 | 0.56 | 2.53 | 2.61 | 0.77 | 1.36 | 0.85 | 0.21 | 3.38 |
| 2020年 | 外国人住民数 | 154 | 247 | 1 | 23 | 9 | 22 | 153 | 7 | 205 | 86 | 31 | 46 | 21 | 6 | 25 |
| | 人口割合 | 0.94 | 5.45 | 0.12 | 1.16 | 0.58 | 0.78 | 1.49 | 0.47 | 2.70 | 1.28 | 0.76 | 1.41 | 0.71 | 0.11 | 1.14 |

(美川・鶴来・白山ろく地域)

| | 地区名 | 美川 | 蝶屋 | 湊 | 一ノ宮 | 鶴来 | 蔵山 | 林 | 館畑 | 河内 | 吉野 | 鳥越 | 尾口 | 白峰 |
|-------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 2025年 | 外国人住民数 | 39 | 122 | 81 | 10 | 48 | 161 | 127 | 93 | 10 | 3 | 10 | 11 | 14 |
| | 人口割合 | 1.04 | 2.18 | 3.00 | 0.81 | 1.31 | 2.67 | 1.65 | 1.98 | 1.13 | 0.38 | 0.49 | 3.22 | 2.26 |
| 2020年 | 外国人住民数 | 27 | 70 | 45 | 10 | 45 | 109 | 102 | 61 | 6 | 3 | 4 | 18 | 3 |
| | 人口割合 | 0.69 | 1.22 | 1.62 | 0.74 | 1.15 | 1.78 | 1.37 | 1.31 | 0.61 | 0.33 | 0.17 | 4.04 | 0.41 |

○多文化共生に関するアンケート調査から見える地域の状況

◆日本人住民の回答（2025年と2020年のアンケートからの比較）

市内の町内会長、地域コミュニティ組織、コミュニティセンター長及び職員、市職員、市国際交流協会関係者等 641 名を対象にアンケート調査を実施したところ、計 454 人から回答を得ました。（回答率は 70.8%）

2020 年から 2025 年の 5 年間で、外国人数は 1.43 倍増え、日本人に占める割合は、1.36%から 1.96%と増加している状況に併せ、地域の店や駅、屋外で見かける割合が 1 割未満から 5 割近くに、また、職場や学校で関わるが 3 割弱に増えている一方、「自宅の近所であいさつをする」は 2020 年当時から大きく変わらないと同時に、「まったく関わることはない」が 1 割強から 3 割弱に増加しています。

また、外国人住民が地域で増えることについては、5 年前同様、生活ルールや習慣が異なることでのトラブル発生を懸念する回答が 1 位で 5 割近くある一方、外国の文化等を知る機会が増える、外国に対して関心を持つようになる、地域で交流ができる等、好意的な意見がそれぞれ 3 割を占めています。

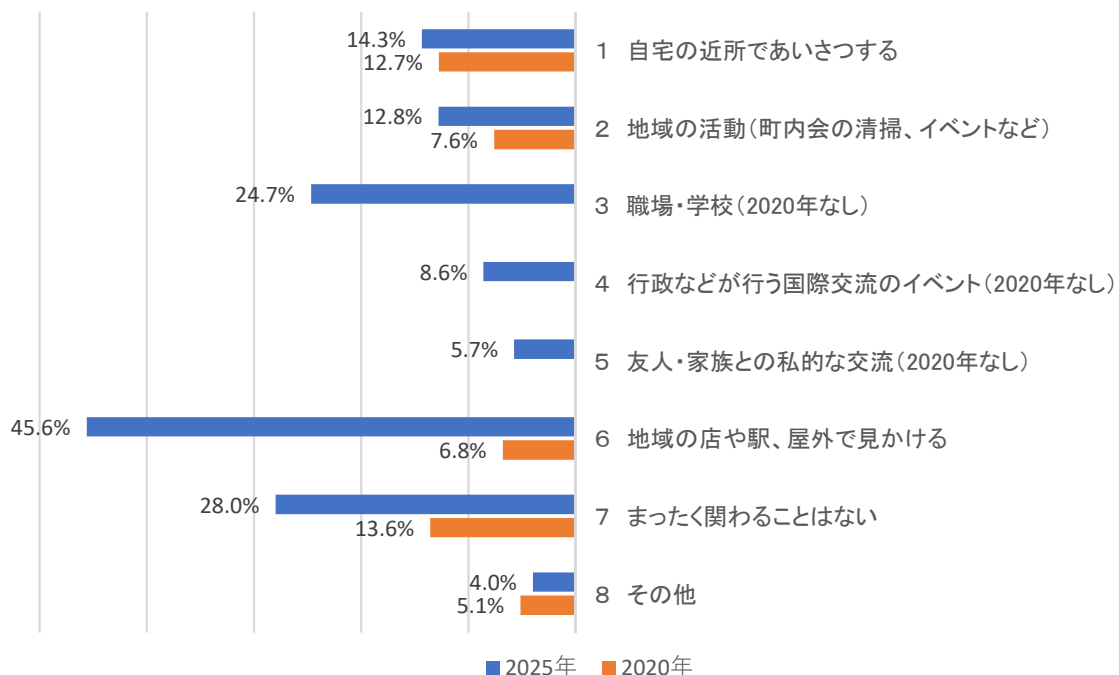
地域で暮らす外国人住民に期待することとして、「ルールや習慣を守ってほしい」が前回同様 1 位で全体の 8 割を超えています。

また、日本語教室や生活相談窓口を担う「白山市国際交流サロン」（松任文化会館ピーノ 2 階）について、「知っている」が 24.9%から 53.3%と増えており、同施設の認知度が向上していることがうかがえます。

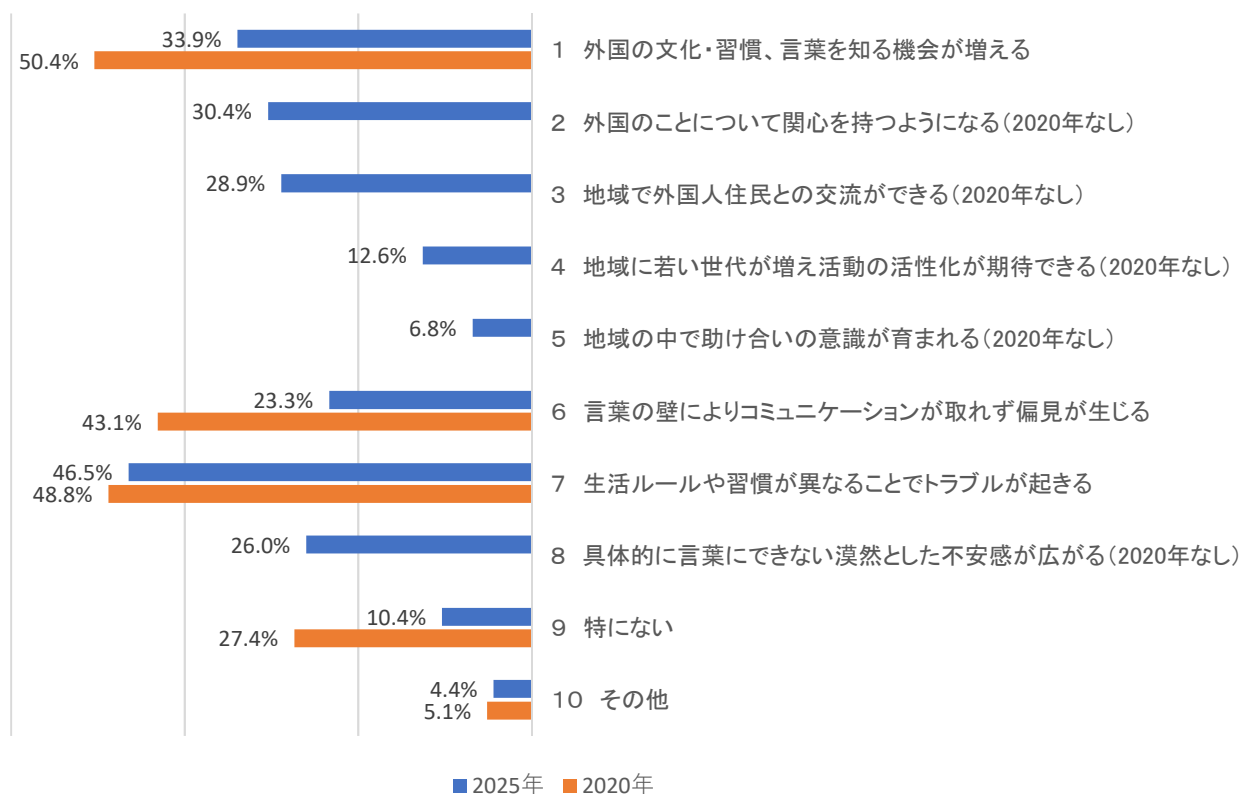
（アンケート結果集計は、参考資料に記載 P33）

【アンケート結果より（一部抜粋）】

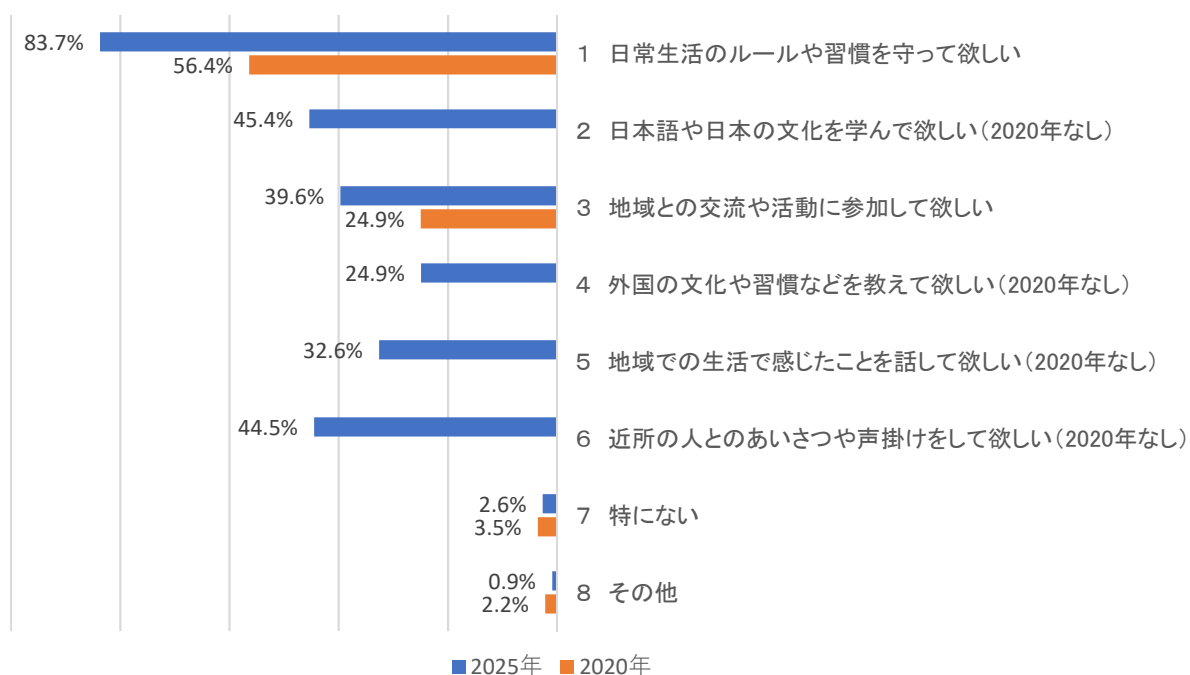
1. 日頃、地域で外国人住民と関わるのは、どのような場面ですか。（複数回答可）



2. 外国人住民が地域（市内）で増えることについて、どのように感じますか。（複数回答可）

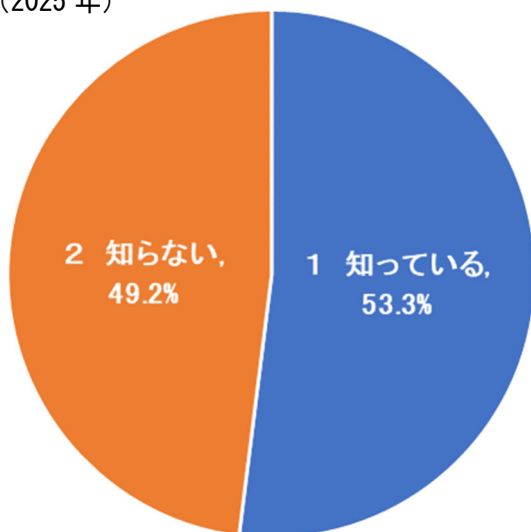


3. 日本人住民と外国人住民がともに安心して暮らせる社会にするため、地域に住む外国人住民にどのようなことを期待しますか。（複数回答可）

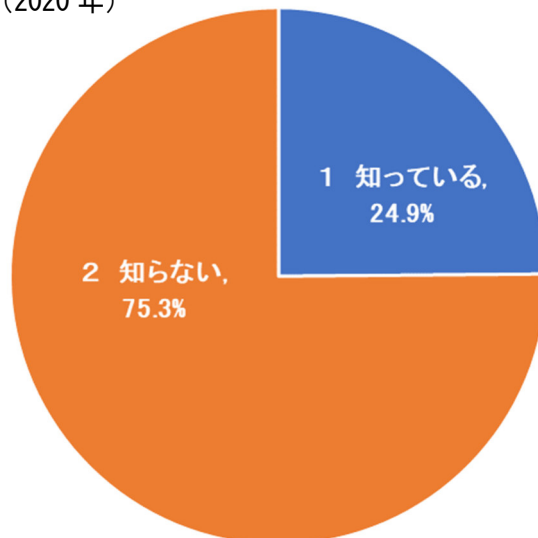


4. あなたは白山市国際交流サロン（松任文化会館ピーノ2階）の存在を知っていますか。

(2025年)



(2020年)



◆外国人住民の回答（2025年と2010年のアンケートからの比較）

2025年（令和7年）11月30日時点で住民基本台帳に記載のある18歳以上の外国籍住民2,141名から国籍、在留資格等を考慮し抽出した人及び、外国人コミュニティリーダー、市国際交流サロンを利用する外国人住民等539名を対象にアンケート調査を実施したところ、計232名から回答を得ました。（回答率は43.0%）

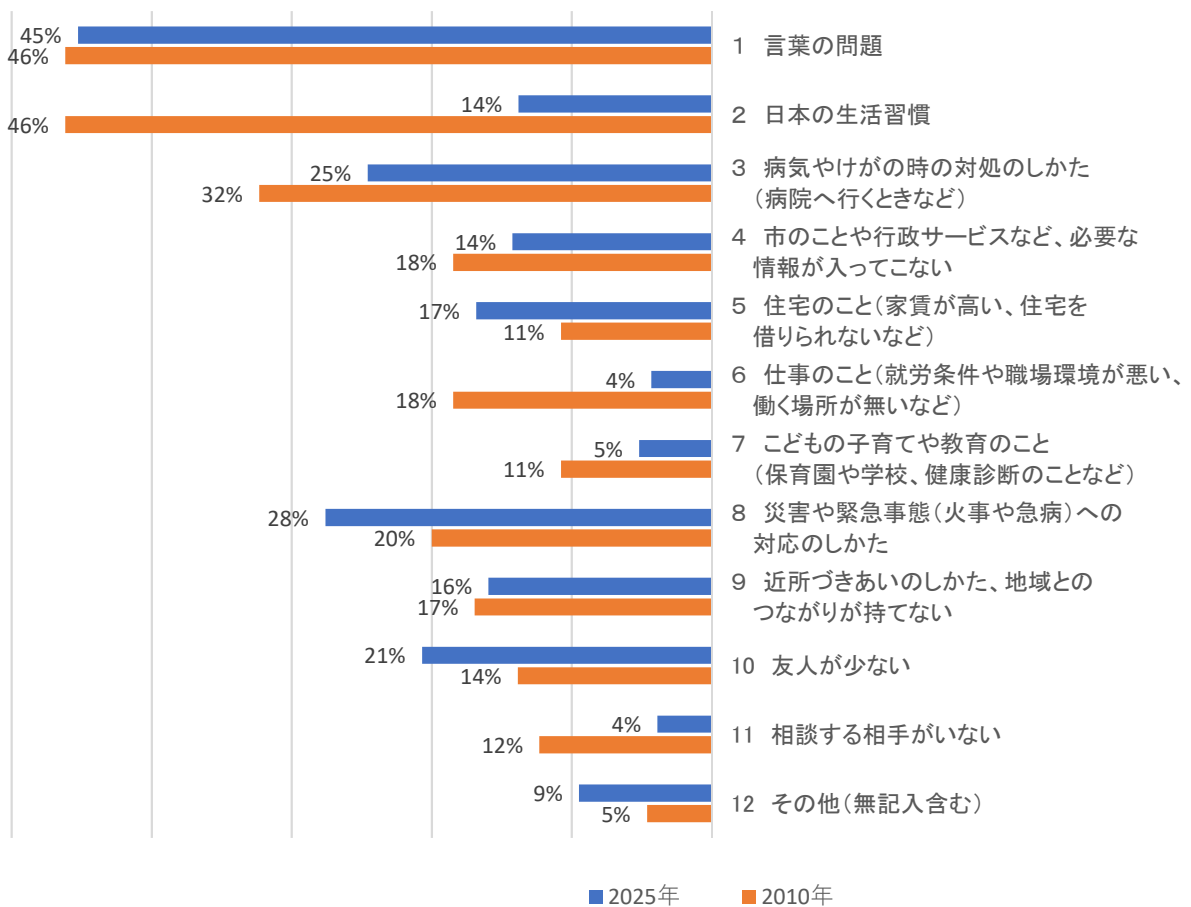
普段の生活で困っていることや不安に思っていることは、15年前と同様、言葉の問題が1位であり、ともに5割弱を占めています。15年前に比べ、日本の生活習慣で困っている、不安に思っている割合が減っているのは、日本の生活に慣れてきた外国人住民が増えた、あるいは、外国人数の増加により同じ国のコミュニティが形成されていることで日本の生活習慣に適合する必要性を特段、感じなくてもすむようになったことが一因と考えられます。また、災害、急病等の緊急時への対応について、3割近くの方が不安を感じており、前回よりも増加しています。特に、「災害時に多言語で情報を入手したい」が5割近くを占めており、「避難場所がわからない」、「災害時のコミュニケーションに不安を抱えている」といった意見が多くありました。

（アンケート結果集計は、参考資料に記載 P39）

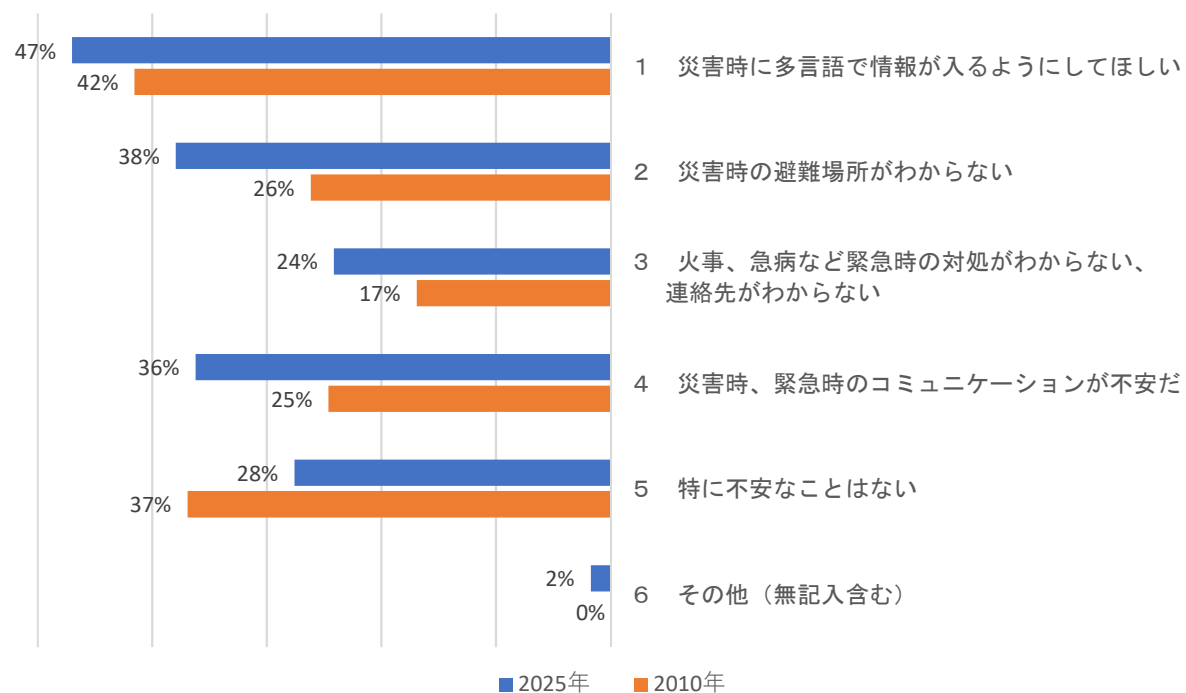
【アンケート結果より（一部抜粋）】

1. 普段の生活で困っていることや不安に思っていることは何ですか。

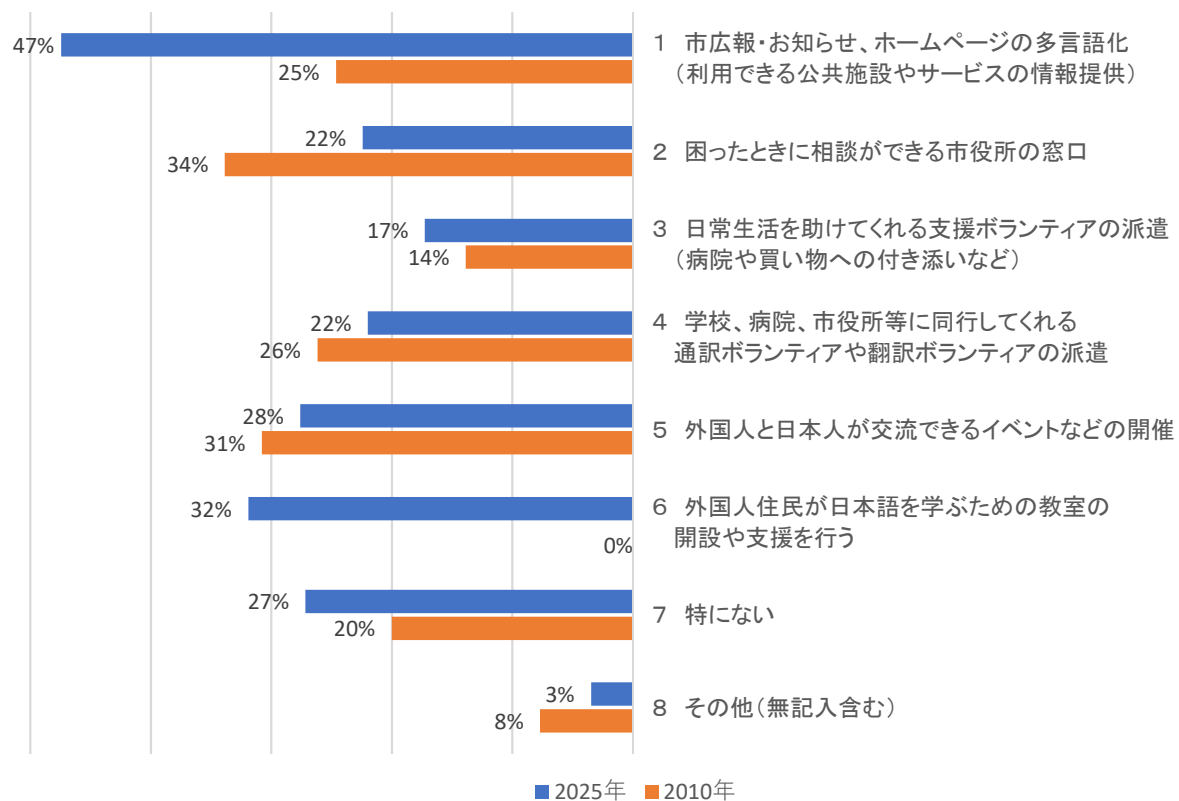
（あてはまるもの上位3つを選択）



2. 災害や緊急時に関して不安なことは何ですか。(あてはまるもの全てを選択)



3. 今後、どのような行政サービスを望みますか。(あてはまるもの全てを選択)



◆企業の回答（2025年）

白山市に協力確認書を提出している企業・団体及び、他の調査で外国人を雇用すると答えた企業 166 社を対象にアンケート調査を実施したところ、計 52 社から回答を得ました。（回答率 31.3%）

外国人を雇用して、労働力以外の面で良かったと思うことについて、半数以上の企業が、複数回答として、「外国の文化・習慣を学ぶ機会ができた」、「外国人に接することで多文化理解が進んだ」と回答しており、働く仲間である外国人に対しては、全体的に好意的な意見が多くありました。また、「社内に活気が出た」が4割あり、企業にとって外国人労働者の存在がプラスに働いていることがわかりました。

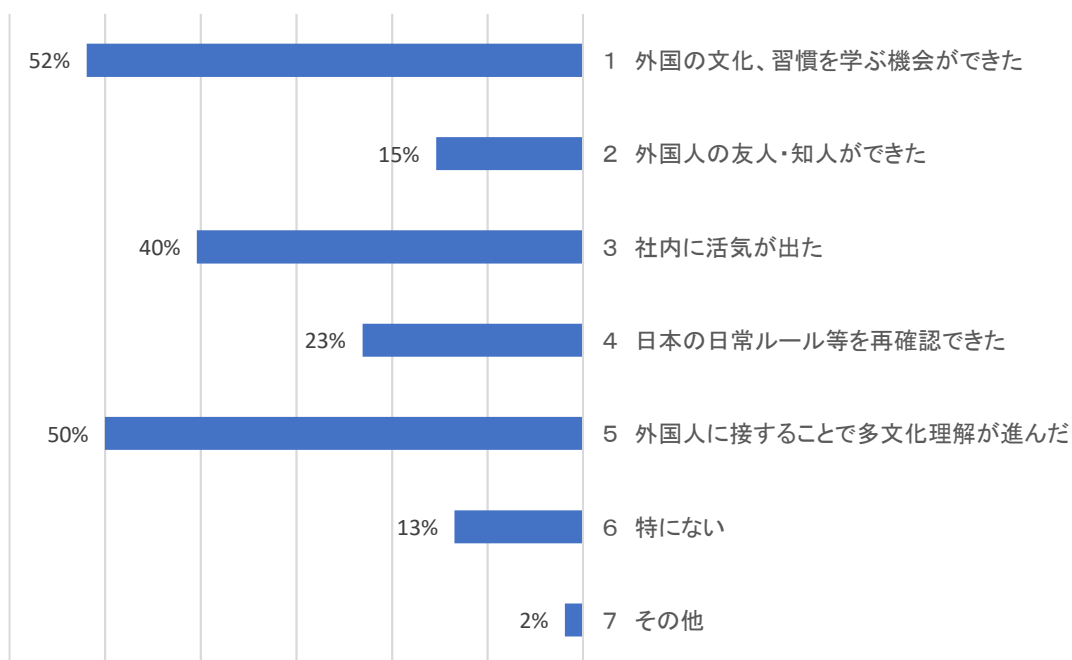
一方、雇用の面で心配や不安に感じることとしては、「日本語でのコミュニケーションが取りにくい」、「住居環境や生活環境の整備にコストがかかる」がともに6割を占めており、言葉の問題と生活者として暮らす上での環境整備に対する企業側の負担が大きいことがうかがえます。

外国人労働者に特に求めることとしては、「日本語を学び、会話ができるようになる」が6割近くあり、また「日本の日常生活の習慣やルールを守る」ことも4割近くとなっており、相互理解には日本語の習得や習慣・ルールの遵守を求める意見が多くありました。

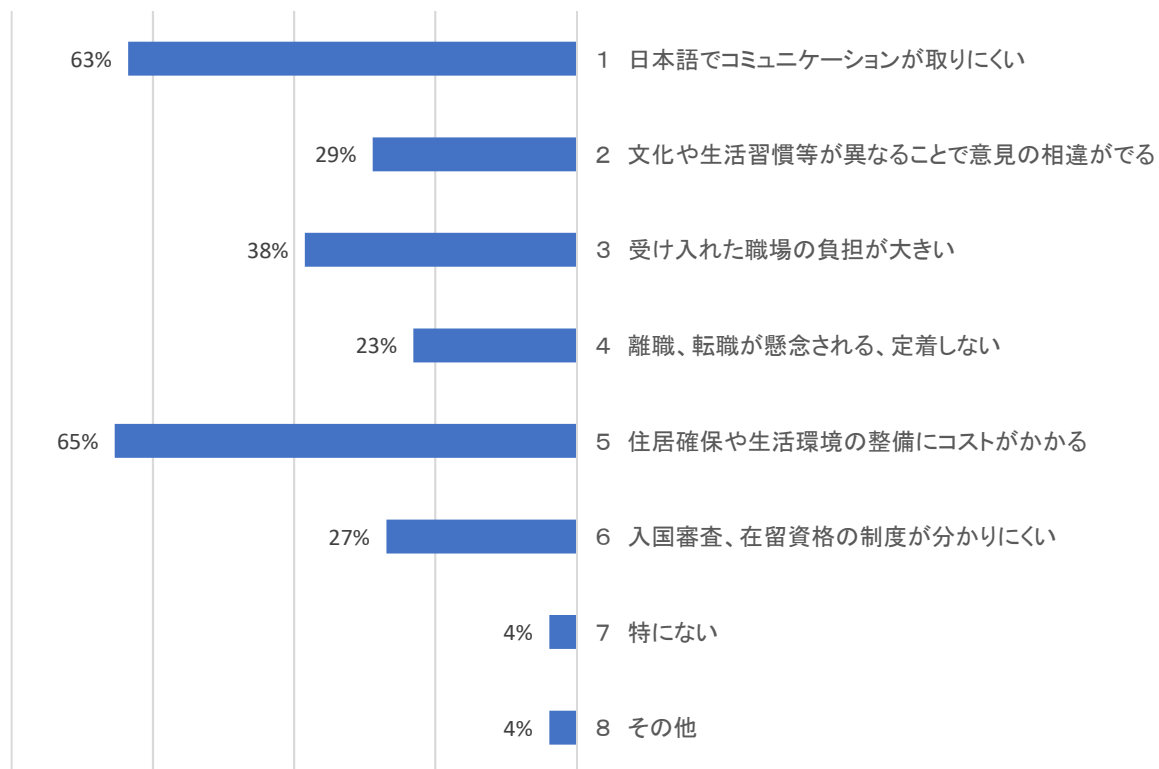
（アンケート結果集計は、参考資料に記載 P45）

【アンケート結果より（一部抜粋）】

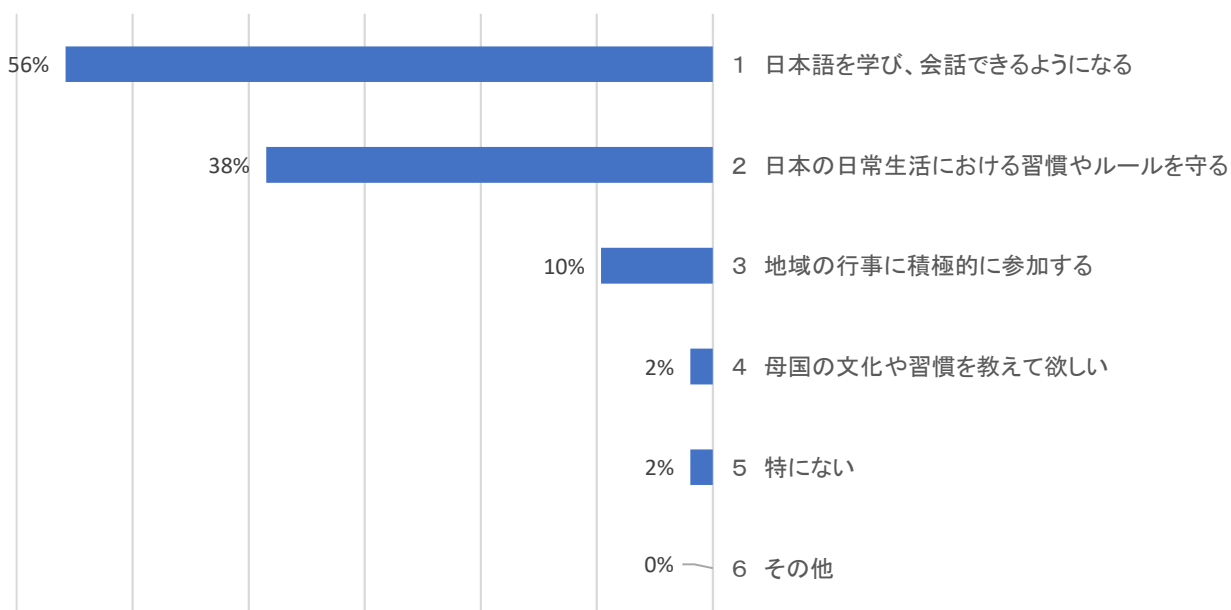
1. 外国人を雇用して、労働力以外の面で良かったと思うことは何ですか。（複数回答可）



2. 外国人労働者の雇用において心配や不安に感じることは何ですか。(複数回答可)



3. 外国人との相互理解のために、外国人労働者に特に求めることは何ですか。
(どれかひとつ)



○多文化共生ワークショップ実施結果

指針の改訂にあたり、2025年（令和7年）12月14日（日）に「多文化共生ワークショップ」を白山市国際交流サロンで開催しました。当日は、外国人コミュニティリーダー（地域の外国人ネットワークや日本の生活事情に詳しい外国人住民）や市内で働く実習生など8か国16名の外国人住民と、町内会長等地域で多文化共生に関わる日本人住民・計30名が参加し、国籍を問わず誰もが暮らしやすいまちづくりについて意見交換を行いました。

ワークショップでは、まず初めに「地域」「子育て・学校」「職場」「防災」の4つの分野で、良いところや困っていることについて、グループに分かれて意見を出しあい、その後、「日本人も外国人も安心して暮らせるまちとは？」というテーマについて話し合いを行いました。まとめの時間が足りなくなるグループもあるほど、参加者から活発な意見が出されました。

最後にグループごとに出た意見の発表を行いました。お隣さんや店員さんが優しい、近所の人や挨拶してくれる、白山市は祭りがたくさんあって賑やか、伝統文化がたくさんあるといった良いところのほか、車が無いので避難に不安、日本人と助け合えたら良い、子育てに関する情報収集が難しいといった悩みがあがりました。

また、日本人参加者からは「日本人も外国人もお互いの理解や歩み寄りの気持ちが大切」といった意見があがり、外国人参加者からも「外国人も地域に馴染んでいく努力が必要」との声が聞かれました。ワークショップでは、双方が意見を“言う”“聞く”場となり、各国のゴミ出しのルールなど、習慣や考えの違いを知るきっかけにもなりました。

※ワークショップの詳細は参考資料に記載 P49



多文化共生ワークショップの様子（国際交流サロンにて）

(7) 親善友好都市等の交流状況

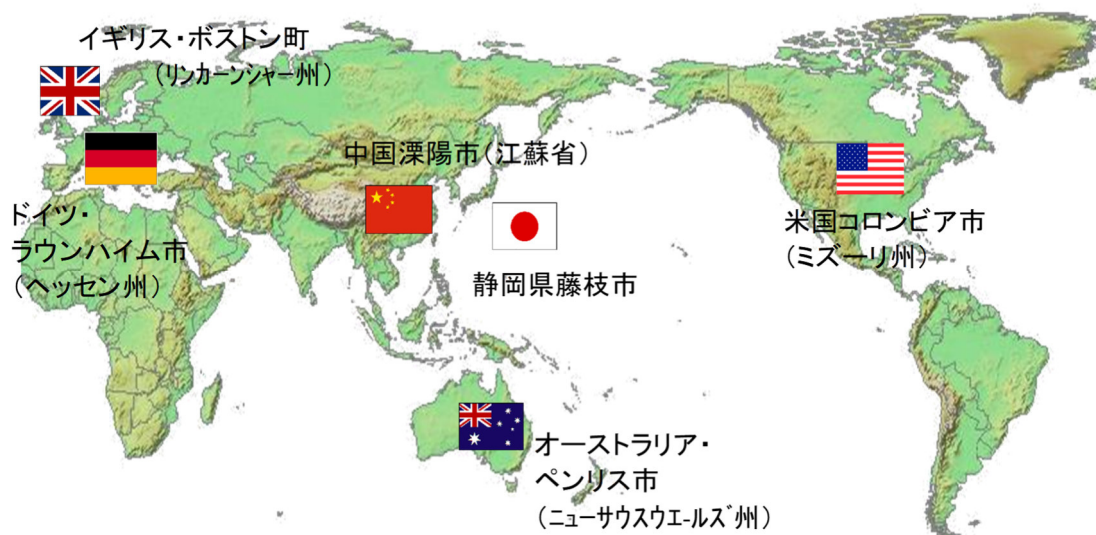
本市には、市町村合併前の自治体の友好都市を引き継ぎ、6ヶ国6都市の友好都市があります。(資料1)

海外の5都市とは、いずれも過去を含め、青少年(中高生)の交流を行ってきており、ホームステイ交流等に参加した生徒は、これまでに1,400人以上にのびります。

現在もペンリス市、ボストン町、溧陽市の3都市と相互交流を継続しており、国際感覚を醸成すると同時に、郷土愛を育む青少年育成の観点において、大きな役割を果たしています。また、友好都市への市民訪問団の派遣や、受け入れの際の交流を通して、国籍や文化等のちがいを超えて、人と人が交流することの大切さや楽しさを実感できる機会を提供しており、市民主体の草の根交流が本市の国際交流の特徴といえます。(資料2、資料3)

(資料1)

白山市の友好都市 6ヶ国6都市(海外は5都市)



(資料2)

友好都市との交流人数

| 呼称 | 都市名 | 提携年月日 | 往來人数※ |
|--------|----------------|-----------------|-----------|
| 親善友好都市 | 藤枝市(静岡県) | 1983(S58).10.10 | 23,000人以上 |
| 姉妹都市 | コロンビア市(アメリカ) | 1988(S63).3.7 | 901人 |
| 親善友好都市 | ペンリス市(オーストラリア) | 1989(H元).11.10 | 1,122人 |
| 友好都市 | 溧陽市(中国) | 1995(H7).10.9 | 407人 |
| 姉妹都市 | ボストン町(イギリス) | 2002(H14).5.24 | 544人 |
| 友好都市 | ラウンハイム市(ドイツ) | 1997(H9).5.14 | 140人 |

※2025.12月末現在(市の把握分のみ)

海外との姉妹都市(5都市)の市民往來人数 **合計 3,114人**

【内訳: 中高生 1,479人 行政・市民等 1,635人】

(資料3) 青少年ホームステイ交流参加者数

コロンビア市含め
1,479人

- イギリス・ポストン町（1994～）
中学生派遣：245人 受入：217人
- オーストラリア・ペンリス市（1995～）
高校生派遣：199人 受入：183人
- 中国深陽市（2007～）
中高生派遣：66人 受入：104人



(数字は1990～2025.12月現在)

また、本市では、県内で開催されているジャパンテント（世界留学生交流）の留学生を毎年受け入れています。

こうした海外からの受け入れ学生を通して、白山市の自然や文化の魅力を発信しています。



ジャパンテント白山市プログラムの参加者

2. 白山市多文化共生のまちづくり推進指針（令和2年版）施策の評価

2020年（令和2年）～2025年（令和7年）の施策の方向性に係る具体的な取り組みの各項目について、担当所属から3段階で得た評価をもとに、施策の方向性毎の評価を表しています。

表 2-5 各種施策の取り組み評価

評価A：取り組みが進んでいる、改善された、成果があった
 B：取り組んでいる、現状維持
 C：取り組んでいない、あまり取り組みが進んでいない、課題が多い

| 基本理念 | 基本目標 | 基本施策等 | 施策の方向性 | 評価 |
|---|------------------------------|-------------------------|---------------------------|----|
| 市民や地域がグローバル感覚と思いやりにあふれ 国籍に関係なく誰もが安心して元気に暮らせるまち | 1 外国人が安全・安心に 暮らす環境づくり | (1)円滑なコミュニケーション環境の実現 | 日本語習得のための支援 | B |
| | | | 日本の生活ルール等の理解促進 | B |
| | | | 多言語（やさしい日本語含む）による情報提供 | B |
| | | | 外国人が相談しやすい体制づくり | B |
| | | (2)子育てのサポートと子どもの教育環境づくり | 行政機関の連携強化 | B |
| | | | 妊婦や就学前の子どもとその保護者の支援 | B |
| | | | 外国人児童生徒等の教育環境の整備 | B |
| | | (3)安全・安心な生活環境づくり | 安心して暮らせる住環境づくり | B |
| | | | 防災意識の啓発 | B |
| | 災害時における情報伝達手段・支援体制の整備 | | B | |
| | 防犯・交通安全の啓発 | | B | |
| | 2 多文化共生の 意識づくり | (1)多文化共生の理解促進 | 日本人住民・外国人住民双方への多文化共生意識の啓発 | B |
| | | | 多文化共生の視点に立った国際理解教育の推進 | B |
| | | | 外国人の人権尊重に関する啓発 | B |
| | | (2)外国人住民と日本人住民の交流機会の創出 | 多文化共生・国際交流イベントの開催 | A |
| | | | 地域での交流活動の支援 | C |
| | 3 国際性を育み多様化に 対応した地域づくり | (1)多文化共生・国際化推進に関わる人の育成 | 若い世代からの国際交流活動の推進 | A |
| | | | 外国人キーパーソン発掘 | A |
| | | | 多文化共生・国際化推進の担い手育成 | B |
| | | (2)外国人住民の社会参画促進 | 外国人住民の地域参画の推進 | B |
| | | | 外国人住民の社会参画できる環境の整備 | C |
| (3)白山市の魅力発信 | | 観光情報の発信と白山市の魅力PR | B | |
| | | 交流人口の増加 | A | |
| | | 外国人来訪者の受入れ体制の整備 | B | |
| 付帯目標 | | 通信インフラ等による新たな交流スタイルの実施 | A | |
| コロナ禍における多文化 共生・国際交流の推進 | | 感染症拡大防止への配慮 | A | |
| | コロナ禍における支援事業 | A | | |

上記のとおり、「地域での交流活動の支援」及び「外国人住民の社会参画できる環境の整備」が評価Cとなっています。これは、町内会等地域社会への外国人の参画や、外国人が働く企業・事業所等との連携、外国人住民からの意見や要望の聴取と反映の取り組みが思うように進まなかったことによるものです。

3. 課題整理と今後の取り組みの方向性

白山市多文化共生のまちづくり推進指針（令和2年版）施策の評価、多文化共生に関するアンケート調査及びワークショップ等の結果などから、課題を整理し、今後の具体的な取り組みにつなげます。

課題1 言葉の問題

外国人向けのアンケート結果から、言語が異なるため日本人とコミュニケーションが充分に取れないことや、病気やけが及び災害や緊急時の際の対応に不安を感じていること、行政や学校から発信される文書が難しく理解しにくいこと、各種情報の入手先が分からないという意見が多く寄せられました。また、企業・事業所等においても、仕事を行う上で、日本語の習得は業務の安全・効率化には欠かせません。

市国際交流サロンで生活のための日本語教室を開催していることを知らない外国人が65%にのぼり、内、知らない外国人の半数が「行きたいが行けない」と回答していました。その理由として、「行く時間がない」が8割強、「交通手段がない」が3割弱ありました。日本語を勉強したい外国人が必ずしも同サロンに通えないことから、身近な地域で「やさしい日本語」を活用した取り組みが望まれます。

（重点的な取り組み）

- * 日本語教育の充実
- * 「やさしい日本語」の普及と活用（市役所窓口等）
- * 地域社会との連携（にほんごカフェ、地域の行事に参加促進等）他

課題2 日本での生活ルール・マナー遵守の問題

日本人向けアンケートでは、地域に住む外国人に期待することとして、8割以上の方が、「日常生活のルールや習慣を守って欲しい」とありました。また、一部外国人の交通ルール、ごみ分別のマナーやアパートでの騒音について等の苦情が、市に寄せられることが少なくないことから、外国人住民に対しての啓発・周知が必要です。

一方、外国人側の意見としては、ごみの分別が難しくてわからない、わかりやすく教えて欲しい、母国語で丁寧に説明して欲しいといった意見もあることから、今後は、母国語での翻訳追加、理解しやすい説明の工夫等も求められます。

（重点的な取り組み）

- * 地域社会との連携（にほんごカフェ、わかりやすい出前講座の開催等）
- * 企業・事業所との連携
- * ごみ分別カレンダー等の多言語化追加の検討等（英語、中国語、ベトナム語の他）

課題3 災害時のコミュニケーションの問題

近年の災害の頻発化に伴い、外国人住民アンケートでも、災害時のコミュニケーション等情報入手のツールや対応について不安を抱えている外国人が多いことがわかります。緊急時の情報を外国人の母国語の数に翻訳することは時間的にも不可能であることから、課題1でも述べたとおり、緊急時には、「やさしい日本語」での情報発信が有効的です。とはいえ、時間の経過とともに、詳細な情報では、母国語での情報を得ることが一番安心できることから、外国人コミュニティリーダーを活用した情報発信の構築が急務です。現在、白山市国際交流協会では、6ヶ国10名（2025年2月末現在）のコミュニティリーダーが登録されており、今後、コミュニティリーダーの国籍別の増員、研修を含めた伝達手段を検討していきます。また、災害時の通訳翻訳を担う人材登録も併せて行っていくことが必要です。

また、外国人住民は被支援者になるだけではなく、年齢層で20代・30代が8割を占めていることから、避難所の設営や協力において支援者側の貴重な人材になり得ます。町内会での防災訓練に参加を呼びかける等、日頃から「顔の見える関係」のお付き合いが大切です。

(重点的な取り組み)

- *外国人コミュニティリーダーの活用と人材育成
- *SNSでの情報伝達の構築（やさしい日本語発信含む）
- *外国人を雇用する企業・事業所及び町内会等との連携等

以上のことから、「やさしい日本語」の活用及び地域コミュニティ組織、町内会、外国人を雇用する企業・事業所等の地域社会との連携は、どの課題を解決する上でも不可欠であることがわかります。地域社会との連携を、今後の多文化共生の取り組みにおける重要課題と位置づけ、推進することが求められています。

なお、今改訂の新項目として、P4の図2-2「外国人年齢層別人口」が示すとおり、年齢層が5年前に比べ、着実に高齢化していることへの対応として、基本目標1の「外国人も日本人もともに安全・安心に暮らす環境づくり」の具体的な取り組みに「高齢者医療・介護等の相談窓口の周知」を追加しました。



第3章 多文化共生推進に向けた取り組み

1. 基本理念

市民や地域がグローバル感覚と思いやりにあふれ
国籍に関係なく誰もが安心して元気に暮らせるまち

多様な価値観や異なる文化への理解を促進し、多文化共生のまちづくりを進めることは、外国人住民にやさしいまちづくりだけでなく、誰にとっても暮らしやすいまちづくりにつながります。

外国人と日本人が、ともに国籍や価値観、文化的なちがいを認め合い、グローバルな視点と思いやりの心を大切にしながら、お互いを尊重し、ともに安心していきいきと元気に暮らせるまちを目指します。

2. 基本目標

基本理念を実現する3つの基本目標は継承し、課題の解消に向けた方向性を定めます。

基本目標1 外国人も日本人もともに安全・安心に暮らす環境づくり

外国人住民に言葉の壁があることで、受けられるべき行政サービスが受けられないことのないよう、「やさしい日本語」を含む多言語による情報提供、制度の周知、子どもを取り巻く環境等生活基盤の整備に取り組みます。

(ポイント!) 日本語教育の充実、「やさしい日本語」の普及と活用、災害時の情報伝達の構築

基本目標2 多文化共生の意識づくり

多文化共生とは、外国人住民を同じ地域に暮らす「仲間」として捉え、日本人と外国人が互いの文化的なちがいを理解し認め合い、ともに支え合うという考え方です。この考え方を地域社会に広げるための方策に取り組みます。

(ポイント!) 地域社会(町内会、地域コミュニティ組織、企業・事業所等)との連携、外国人・日本人の交流機会の創出

基本目標3 国際性を育み多様化に対応した地域づくり

多文化共生の意識が地域社会に広がるためには、その担い手となる人づくりが欠かせません。多文化共生に関わる人材育成や、将来の担い手となる子どもたちへの国際感覚や異文化体験の推進を図り、多様な文化や価値観を認め合う地域づくりをめざします。

(ポイント!) 外国人コミュニティリーダーの育成、若者・子どもたちの異文化体験・多文化理解の推進、本市の特徴である自然や文化を発信

3. 施策の体系

【基本理念】

【基本目標】

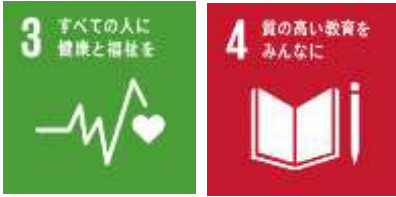


【基本施策等】

市民や地域がグローバル感覚と思いやりにあふれ
国籍に関係なく誰もが安心して元気に暮らせるまち

基本目標 1

外国人も日本人もともに
安全・安心に暮らす環境
づくり



(1)円滑なコミュニケーション
環境の実現

(2)子育てのサポートと
子どもの教育環境づくり

(3)安全・安心な生活環境づくり

基本目標 2

多文化共生の意識づくり



(1)多文化共生の理解促進

(2)外国人住民と日本人住民の
交流機会の創出

基本目標 3

国際性を育み多様化に
対応した地域づくり



(1)多文化共生・国際化推進に
関わる人の育成

(2)外国人住民の社会参画促進

(3)文化を通じた国際交流の推進

第4章 施策の展開

基本目標 1 外国人も日本人もともに安全・安心に暮らす環境づくり

基本施策（1）円滑なコミュニケーション環境の実現

日本語の能力が十分でない外国人住民にとって、情報の入手が困難な状況はとても不安です。また、日本語や日本の生活上のルールがわからないことで、外国人はもちろんのこと、日本人にとっても不安や心配につながる場合があります。

外国人と日本人双方の安心につなげるために、日本語や日本の生活ルールを学ぶ学習の機会をより充実するほか、「やさしい日本語」を活用した情報発信に努めます。

★重点項目

| 施策の方向性 | 具体的な取り組み | 担当所属 |
|-----------------------|---|------------------------|
| 日本語教育の充実 | 1. 日本語教室の拠点「サロン」の活動支援 | 都市交流・多文化共生課 |
| | 2. ★日本語サポーターの養成・研修 | 国際交流協会 |
| | 3. ★地域社会での学習の機会促進 | 都市交流・多文化共生課、 国際交流協会 |
| | 4. ★外国人児童生徒等の日本語学習支援及び進学支援 | 学校指導課、 都市交流・多文化共生課 |
| 日本の生活ルール等の理解促進 | 5. ★転入時、オリエンテーションセットの提供 | 市民課他 |
| | 6. ★多言語版生活ガイドブックの周知・活用 | 都市交流・多文化共生課 |
| | 7. ごみ分別を始めとした生活ルール・習慣等の意識啓発 | 環境課 |
| | 8. 日本の生活ルール・習慣等に関する学習機会の提供 | 都市交流・多文化共生課、 国際交流協会 |
| 多言語（やさしい日本語含む）による情報提供 | 9. ★「やさしい日本語」の普及と活用 | 各課 |
| | 10. ★行政書類・情報（申請書・印刷物等）の多言語化推進 | 各課 |
| | 11. SNS を活用した外国人向け情報発信の充実 | シティプロモーション推進課 |
| | 12. 公共サイン（市関係施設や市内の案内看板）の外国語併記・ユニバーサルデザイン化の推進 | 各課 |
| 外国人が相談しやすい体制づくり | 13. 相談対応における関係部署との連携強化 | 市民相談室 |
| | 14. ★市役所職員の「やさしい日本語」での対応 | 各課 |
| | 15. 生活相談窓口「サロン」の周知・充実 | 都市交流・多文化共生課、 国際交流協会 |
| | 16. 外国人が集住する地域の相談体制の検討 | 都市交流・多文化共生課 |

「やさしい日本語」とは、外国人や高齢者、子どもにも伝わりやすくする3つの法則（はっきり言う、さいごまで言う、みじかく言う：はさみの法則）を用いた表現方法で、伝えたい要点を簡単にまとめ見やすくすることで内容が理解されやすくなります。

基本施策（２）子育てのサポートと子どもの教育環境づくり

近年、本市に家族帯同で転入し、出産・子育てを行う外国人住民が徐々に増えています。日常会話はある程度できて、子育てや教育に関する専門用語が分からない、また文化のちがいで不安を抱える場合が多くあります。安心して子どもを産み、育て、教育できる環境整備を進めます。

★重点項目

| 施策の方向性 | 具体的な取り組み | 担当所属 |
|---------------------|--------------------------------|------------------------|
| 行政機関の連携強化 | 1. ★多文化共生コミュニケーション支援制度の周知・活用 | 都市交流・多文化共生課、 学校指導課 |
| | 2. 市役所担当職員間の連携・ワーキング | 都市交流・多文化共生課 |
| | 3. 生活相談窓口「サロン」の周知・充実（再掲） | 都市交流・多文化共生課、 国際交流協会 |
| 妊婦や就学前の子どもとその保護者の支援 | 4. ★子育て情報（入園手続き等）の多言語化推進 | 保育こども園課、 子育て支援課 |
| | 5. 健診・予防接種等の多言語対応 | いきいき健康課 |
| | 6. ★多文化子育て交流機会の提供 | 国際交流協会 |
| | 7. 日本の学校について学ぶ機会及び多言語化による情報の提供 | 学校教育課、 学校指導課 |
| 外国人児童生徒等※の教育環境の整備 | 8. 学校情報（入学手続き等）の多言語化推進 | 学校指導課 |
| | 9. ★外国人児童生徒等の日本語学習支援及び進学支援（再掲） | 学校指導課、 都市交流・多文化共生課 |
| | 10. 外国人児童生徒等の状況把握と情報の共有 | 学校指導課、 都市交流・多文化共生課 |
| | 11. ★子ども日本語サポーターの養成と研修の開催 | 都市交流・多文化共生課、 国際交流協会 |

白山市多文化共生コミュニケーション支援事業

日本語能力が十分ではない外国人住民と行政機関等との橋渡しを行うコミュニティ通訳及び、外国人児童生徒等(※)への日本語支援を行うサポーター派遣制度です。

（１）コミュニティ通訳サポーター

概要 公的機関等と外国人住民との間の通訳・翻訳を行います。

（２）子ども日本語サポーター

概要 市内の小中学校において、外国人児童生徒等への日本語初期指導を行い、日常会話や日本語理解の支援を行います。

※外国人児童生徒等：外国人児童生徒のほか、国際結婚家庭などを中心に、日本国籍ではあるが日本語指導が必要な児童生徒も含めた総称。



基本施策（3）安全・安心な生活環境づくり

入国したばかりの人や日本国内の他の地域から白山市へ引っ越したばかりの人は、習慣やルールが異なることから、いろいろな問題や疑問を抱えることが少なくありません。

また、本市の外国人の在留資格別では、就労関係の資格が7割を占め外国人労働者が多いことが特徴です。就労の期間は1年から5年の短期間が多いですが、たとえ短期間であっても、地域を支える同じ市民として、等しく安心して暮らすための支援が必要です。

さらに、安全・安心な生活環境のためには、外国人・日本人住民双方にとっては、災害に対する備え、防犯・交通安全の啓発は、最重要課題です。外国人住民を対象に、警察署や交通安全協会、消防署等と連携し、地域や企業・事業所等を巻き込んだ取り組みに努めます。

★重点項目

| 施策の方向性 | 具体的な取り組み | 担当所属 |
|-----------------------|---------------------------------|-----------------------|
| 安心して暮らせる環境づくり | 1. 市営住宅の入居に関する支援 | 建築住宅課 |
| | 2. 町内会に関する情報提供、加入促進 | 総務課 |
| | 3. 外国人を雇用する事業所・企業への情報提供 | 商工課、 地域安全課 |
| | 4. 高齢者医療・介護等の相談窓口の周知 | 長寿介護課、 保険年金課 |
| | 5. 外国人が集住する地域の相談体制の検討(再掲) | 都市交流・多文化共生課 |
| 防災意識の啓発 | 6. ★外国人住民向けの防災教育の実施 | 危機管理課 |
| | 7. 多言語化した防災情報の周知 | 危機管理課 |
| | 8. 地域防災訓練への外国人住民の参加促進 | 危機管理課 |
| 災害時における情報伝達手段・支援体制の整備 | 9. ★「やさしい日本語」による災害情報発信体制の構築 | 危機管理課、 都市交流・多文化共生課 |
| | 10. ★外国人コミュニティリーダーを活用した情報伝達の構築 | 都市交流・多文化共生課 |
| | 11. 避難所表示等のユニバーサルデザインの活用 | 危機管理課 |
| 防犯・交通安全の啓発 | 12. 交通安全・防犯講習の支援 | 地域安全課 |
| | 13. 多言語化した防犯・交通安全パンフレットの周知・啓発 | 地域安全課 |
| | 14. ★外国人を雇用する事業所及び町内会等と連携した啓発活動 | 地域安全課、 都市交流・多文化共生課 |



基本施策（１）多文化共生の理解促進

外国人住民が市内で増加することに対して、日本の習慣や生活ルール、治安が乱されるのではないかとの漠然とした不安を抱く方が少なからず見受けられます。そこで、市民に対する多文化共生意識の啓発を行うことで、理解不足やコミュニケーション不足から生じる誤解や偏見、不安の解消を図るとともに、誰もが大切にされる人権尊重の意識を啓発します。

★重点項目

| 施策の方向性 | 具体的な取り組み | 担当所属 |
|-----------------------|-------------------------------|------------------------|
| 日本人・外国人住民への多文化共生意識の啓発 | 1. ★多文化共生に関する啓発事業の実施 | 都市交流・多文化共生課 |
| | 2. 国際交流員の活用（国際理解講座、まちかど市民講座他） | 都市交流・多文化共生課 |
| | 3. ★多文化共生を図る事業・イベント等の開催 | 国際交流協会 |
| | 4. 広報誌、ホームページによる啓発 | 都市交流・多文化共生課 |
| 多文化共生の視点に立った国際理解教育の推進 | 5. 小・中学校における国際理解教育の実施 | 学校指導課 |
| | 6. 国際交流員及び外国語指導助手による国際理解教育の提供 | 国際交流協会 |
| 外国人の人権尊重に関する啓発 | 7. 人権啓発事業の実施 | 市民相談室他 |
| | 8. 外国人労働者の就労に関する情報の提供 | 商工課、 商工会議所 |
| | 9. 活躍する外国人住民の紹介 | 都市交流・多文化共生課、 国際交流協会 |

基本施策（２）外国人住民と日本人住民の交流機会の創出

相互理解を図るうえで、異なる文化背景を学び、理解し合える行事やイベントなどの交流の機会は非常に有効です。市国際交流協等との連携により交流の機会を創出するとともに、地域コミュニティ組織や町内会、学校等も含めた地域社会における交流活動を促進します。

★重点項目

| 施策の方向性 | 具体的な取り組み | 担当所属 |
|-------------------|--------------------------------------|------------------------|
| 多文化共生・国際交流イベントの開催 | 1. 日本人と外国人が参加する交流事業の開催 | 国際交流協会 |
| 地域での交流活動の支援 | 2. ★地域コミュニティ組織、町内会等地域社会における活動促進・【例1】 | 都市交流・多文化共生課、 国際交流協会 |
| | 3. ★外国人が働く企業・事業所等との連携 | 都市交流・多文化共生課、 商工課 |
| | 4. 外国人住民が参加しやすい地域イベントの促進 | 都市交流・多文化共生課、 国際交流協会 |
| 市国際交流協会の活動支援 | 5. 多文化共生・国際交流拠点としての機能向上 | 都市交流・多文化共生課 |
| | 6. 国際交流サポーター制度の周知、活用 | 都市交流・多文化共生課 |

【例1】市内の各地区における交流活動

多くの外国人労働者が住む地区では、日本人と外国人とがお互いに理解を深めるため、にほんごカフェ（外国人・日本人住民の交流会）が定期的で開催されています。にほんごカフェは、白山市国際交流協会が共催、助言等で協力しています。

内容は、ごみ分別や防犯・交通ルールの講習会のほか、スポーツレクリエーション、料理等を通して親睦を深めています。また、一部の地区では、外国人住民にも夏祭りや文化祭などの参加の呼び掛けを行っています。顔と顔を合わせて、直接に対話・交流することで相互理解が育まれます。



にほんごカフェいしかわ（石川地区）
カローリングによるスポーツ交流の様子



にほんごカフェみなと（湊地区）
避難場所までのルートを確認している様子



にほんごカフェ旭丘（旭丘団地協同組合）
団地内の企業・事業所等に勤める外国人を対象
に開催。
ゴミの分別や収集日について学んでいる様子

白山市国際交流協会「国際交流サポーター登録制度」

市民参加による国際交流活動を促進し、草の根レベルの国際理解と友好親善を深めるため、各分野で協力いただける方の人材登録制度です。サポーターは、協会事業に協力するほか、市、学校、病院等の公的機関や民間団体等から派遣依頼があった場合、サロンがコーディネートし派遣します。

【サポーターの種類】 ※カッコ内の数字は、2025年（令和7年）度末の登録者数。

- ホームステイサポーター：海外からのお客様や留学生をご家庭で受け入れ（33人）
- 通訳翻訳サポーター：通訳や翻訳のお手伝い（55人）
- 日本語サポーター：外国人に日本語を指導（71人）
- 日本文化サポーター：海外からのお客様や留学生に日本文化を紹介（31人）
- 外国文化サポーター：外国人住民の母国の文化を日本人に紹介（20人）

基本施策（１）多文化共生・国際化推進に関わる人の育成

若い世代からの異文化体験や多文化に触れる機会は、チャレンジあふれる若者のグローバル感覚を醸成し、この先の多文化共生社会の担い手を育成するうえで有効であると考えています。また、地域で活躍する外国人や、多文化共生を推進するために活躍する人を発掘し、その取り組みを支援します。

★重点項目

| 施策の方向性 | 具体的な取り組み | 担当所属 |
|-------------------|--------------------------------|--------------------|
| 若い世代からの国際交流活動の推進 | 1. 友好都市や諸外国との文化交流推進 | 都市交流・多文化共生課、国際交流協会 |
| | 2. 青少年ホームステイ交流事業の実施 | 都市交流・多文化共生課 |
| | 3. 国際交流員等を生かした身近な国際交流活動の推進 | 都市交流・多文化共生課、国際交流協会 |
| 外国人キーパーソンの発掘・活用 | 4. ★災害連絡体制のコミュニティリーダーの発掘・育成・活用 | 都市交流・多文化共生課、国際交流協会 |
| 多文化共生・国際化推進の担い手育成 | 5. ★青少年ホームステイ交流派遣生フォローアップ | 都市交流・多文化共生課 |
| | 6. 国際交流サポーター制度の周知・活用（再掲） | 国際交流協会 |
| | 7. 地域での取り組みに対する活動支援 | 都市交流・多文化共生課、国際交流協会 |

基本施策（２）外国人住民の社会参画促進

外国人住民も地域社会の持続や活性化のために必要な存在です。多様な文化や価値観を持った人材がまちの活力となり、地域社会で能力を発揮できるような環境整備に努めます。

★重点項目

| 施策の方向性 | 具体的な取り組み | 担当所属 |
|--------------------|------------------------------|---------------------------|
| 外国人住民の地域参画の推進 | 1. 市イベントや地域活動に関する外国人住民への情報提供 | 都市交流・多文化共生課、シティプロモーション推進課 |
| | 2. 地域活動やイベントへの外国人住民の参加促進 | 各課 |
| 外国人住民が社会参画できる環境の整備 | 3. ★外国人住民からの意見や要望の聴取と反映 | 都市交流・多文化共生課 |
| | 4. 地域社会における活躍の場の提供 | 各課 |



基本施策（3）文化を通じた国際交流の推進

海外の友好都市からの人々や諸外国からの留学生等の受入は、市民どうしの友好を深める機会であるとともに、白山手取川ジオパークの特徴や固有の伝統文化を通じた国際交流を図ることで、本市の魅力を発信するチャンスでもあります。SNS 等の媒体を利用して本市の魅力を発信することにより、国内外の外国人及び日本人に関心を持ってもらい、交流人口や関係人口の増加につなげます。

★重点項目

| 施策の方向性 | 具体的な取り組み | 担当所属 |
|--------------|--|--|
| 白山市の魅力PR | 1. 観光サインやパンフレット、展示物等の多言語化推進・・・【例2】 | 観光課、 ジオパーク・エコパーク推進課 国際交流協会 |
| | 2. ★SNS や動画チャンネル等を活用した外国語での魅力コンテンツの制作とPR | 観光課、 ジオパーク・エコパーク推進課、 シティプロモーション推進課 |
| | 3. 発信者としての国際交流員や外国人住民の活用 | 都市交流・多文化共生課、 国際交流協会 |
| 交流人口・関係人口の増加 | 4. 友好都市や諸外国との文化交流推進（再掲）・・・【例3】 | 都市交流・多文化共生課、 国際交流協会 |
| | 5. 青少年ホームステイ交流事業の実施（再掲） | 都市交流・多文化共生課 |
| | 6. 国際交流を推進するNPO等関係団体との連携 | 都市交流・多文化共生課、 国際交流協会 |

【例2】白山市の魅力発信

白山手取川ジオパーク推進協議会の協力を得て、市民が白山手取川ジオパークについて勉強会を開催し、その成果を外国人住民等に英語で発表しました。（写真は、はくさん国際交流まつり2024にて）



【例3】親善友好都市との交流

親善友好都市との青少年ホームステイ交流事業の受け入れプログラムの一環で、海外からの中学生や高校生が、市内ふるさと館にて、着物の着付けや茶道体験を行っています。（写真は2024年オーストラリア・ペンリス市の高校生受け入れ）



第5章 推進にあたって

1. 推進体制

改訂後の指針を推進するにあたり、市と地域の各主体とが連携しながら協働で施策を実施する体制を構築し、多文化共生のまちづくりの実現を目指します。

(1) 市役所での取り組み

市役所内に設置する「白山市多文化共生推進庁内連絡会」により、横断的な取り組みを行います。各部署の「多文化共生推進員」が中心となり、情報交換や課題の共有を行い、部署間で連携して施策を実施していきます。

(2) 市及び地域の各主体の役割

市全体で指針を推進していくためには、市と市国際交流協会、町内会や地域コミュニティ組織、企業・事業所等がそれぞれの立場と役割を認識し、お互いに連携・協働することが必要です。各主体等の役割は以下のとおりです。

① 市の役割

市は外国人住民にとって最も身近な行政の窓口であり、国や県及び地域の各主体と連携しながら、地域の現状にあわせた各種施策を検討し、効果的な取り組みの実施が求められます。

② 市民の役割

市民一人ひとりは、多文化共生を推進する主役であり、相手の文化や人権を尊重し、お互いを理解することに努め、同じ地域社会を構成する一員として協力し合う姿勢が求められます。また、地域の文化や習慣について理解を深めるとともに、法令や生活ルールなどを守る必要があります。

③ 町内会及び地域コミュニティ組織の役割

町内会及び地域コミュニティ組織は、生活に密着した一番身近なコミュニティです。外国人住民へ地域の情報提供や行事等の地域参加を積極的に促すことが求められます。また、外国人住民にとっても、自らが地域社会の一員という認識のもとで積極的に関わり、ともに支え合うという意識が必要です。

④ 企業・事業所等の役割

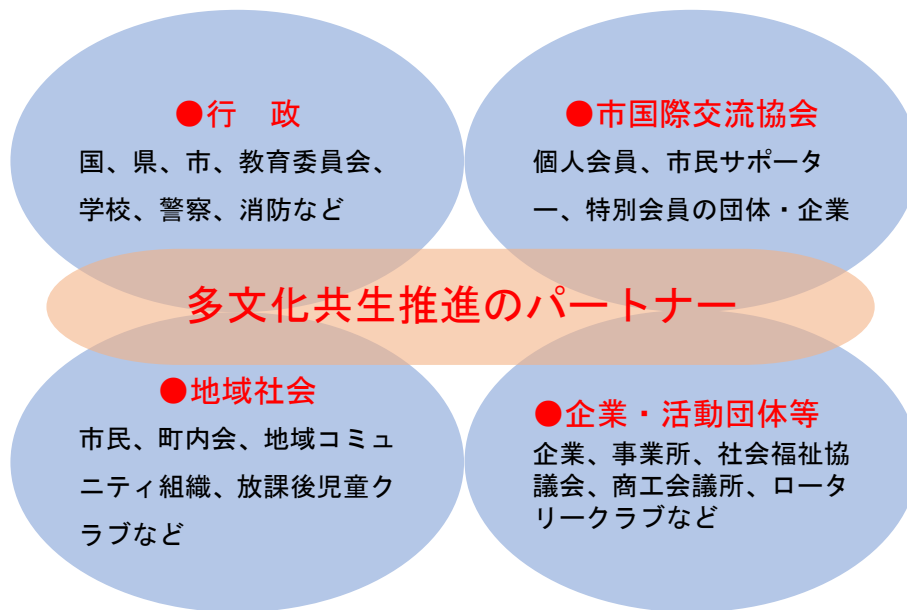
本市の外国人住民は7割近くが就労による滞在であり、地域の経済活動に大きく貢献しています。雇用する企業・事業所や受け入れ監理組合は、外国人労働者の人権を十分に尊重するとともに、労働関係法令を遵守し、社会的責任を果たすことが求められます。

また、地域における社会貢献の観点からも外国人労働者と地域住民との交流への配慮等が望まれます。

⑤ 市国際交流協会の役割

市国際交流協会は、多くの情報やノウハウ、そして多様な人材が集まっている地域の多文化共生・国際交流推進の中核的な組織です。行政に比べて、迅速で柔軟な対応がしやすく、よりきめ細やかな事業や支援が可能なことなどの特徴を活かして、行政との連携を図ることで、草の根レベルの活動を展開していくことが期待されます。また、行政とその他国際交流団体、事業者等との橋渡しの役目も求められています。

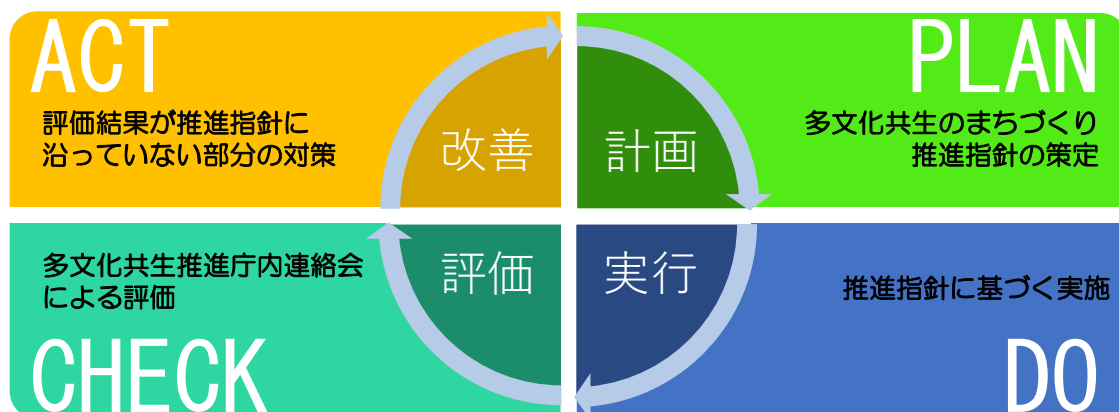
図 5-1 連携・協働のイメージ



2. 進行管理

指針の進行にあたっては、多文化共生推進庁内連絡会において進行管理を行い、PDCA サイクルに基づく見直しと改善を図ります。

また、本市における多文化共生に関する情報交換の場や進捗状況进行评估・検証し、将来的には地域の各主体を構成員とする多文化共生に関する連絡会の設置をめざします。



参考資料

1. 用語解説

● 特定技能

深刻な人手不足に対応し、2019年（平成31年）4月の改正入管法で新たに新設された外国人向け在留資格。特定産業分野（介護、建設、農業、漁業、外食業等の14分野）に従事する外国人について通算5年間の在留が認められる。熟練した技能を要する特定技能2号は無期限で家族の帯同が可能。

● 技能実習制度

日本の企業などで働きながら習得した技術や知識を母国の発展に活かしてもらうことを目的に1993年（平成5年）に制度化された在留資格。現在、定められた82職種148作業について最長5年の在留資格が認められている。2027年（令和9年）4月より、育成就労制度へ移行する。

● 育成就労制度

技能移転による国際貢献を目的とする技能実習制度を発展的に解消し、国の人手不足分野における人材の育成・確保を目的とする制度で、2027年（令和9年）4月より施行される。この制度では、技能試験と日本語試験に合格すれば「特定技能」に移行できる。

● 永住者

日本に10年以上継続して在留しているなどの要件を満たし、法務大臣から永住の許可を得た者。在留資格更新の手続きが不要であり、在留期間や就労制限がない。

● ユニバーサルデザイン

すべての人のためのデザインを意味し、年齢や能力、状況などにかかわらず、デザインの最初から出来るだけ多くの人々が利用可能にすること。絵文字（ピクトグラム）を使ったわかりやすい情報の伝達も含まれる。

● 国際交流員（CIR）

国のJETプログラムにより来日し、地方自治体に配置される外国人青年。日本の文化や言語に長けていることから行政の国際業務のサポートのほか、国際交流の架け橋として、地域の国際化に貢献。CIR: Coordinator for International Relations

● キーパーソン

任意の組織、コミュニティ、人間関係の中で、とくに大きな影響を全体におよぼす、「鍵となる人物」のこと。

● 地域コミュニティ組織

地域の生活や暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加しながら、地域課題の解決に向けた取り組みを持続的に実践する組織。（市内に28地区が組織されている）

● 外国人コミュニティリーダー

外国人住民と地域、行政等を結ぶ橋渡し役や災害時の自助・共助等の担い手として、地域の外国人ネットワークや日本の生活事情に詳しい外国人住民の方。

2. 日本人住民対象アンケート結果

実施期間 2025年12月25日～2026年2月5日

調査方法 アンケート郵送、メール発信

市内町内会長、地域コミュニティ組織、コミュニティセンター長及び職員、市職員、市国際交流協会関係者等計641名に調査を依頼。

回答数 全体で454人からの回答があった。(回答率は70.8%)

<質問ごとの回答状況>

【外国人住民との関わりについて】

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---|------------------------|-----|-------|
| 1. 日頃、地域で外国人住民と関わるのは、どのような場面ですか。(複数回答可) | 1 自宅の近所であいさつする | 65 | 14.3% |
| | 2 地域の活動(町内会の清掃、イベントなど) | 58 | 12.8% |
| | 3 職場・学校 | 112 | 24.7% |
| | 4 行政などが行う国際交流のイベント | 39 | 8.6% |
| | 5 友人・家族との私的な交流 | 26 | 5.7% |
| | 6 地域の店や駅、屋外で見かける | 207 | 45.6% |
| | 7 まったく関わることはない | 127 | 28.0% |
| | 8 その他 | 18 | 4.0% |
| ・周りに外国人がいないため、あまり関わることはない。 ・積極的に交流している。 ・従業員や店員として見かけたり、地域でよく見かけたりする。 | | | |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---|------------------------------|-----|-------|
| 2. 外国人住民が地域(市内)で増えることについて、どのように感じますか。(複数回答可) | 1 外国の文化・習慣、言葉を知る機会が増える | 154 | 33.9% |
| | 2 外国のことについて関心を持つようになる | 138 | 30.4% |
| | 3 地域で外国人住民との交流ができる | 131 | 28.9% |
| | 4 地域に若い世代が増え活動の活性化が期待できる | 57 | 12.6% |
| | 5 地域の中で助け合いの意識が育まれる | 31 | 6.8% |
| | 6 言葉の壁によりコミュニケーションが取れず偏見が生じる | 106 | 23.3% |
| | 7 生活ルールや習慣が異なることでトラブルが起きる | 211 | 46.5% |
| | 8 具体的に言葉にできない漠然とした不安感が広がる | 118 | 26.0% |
| | 9 特になし | 47 | 10.4% |
| | 10 その他 | 20 | 4.4% |
| ・外国人を労働力として受け入れる事を国が推し進める以上、外国人が増えることはしょうがない。その上で外国人とのトラブルが起こらないように、雇用主や行政が、十分な事前指導を行うことが大切。 ・治安が悪くなるのではないかと不安である。 ・コミュニケーションがうまく取れないことで、誤解やトラブルが予想されるため、互いに歩み寄る努力が必要であると考えます。 ・地域に多様性が生まれることで、子供たちにとっても、視野が広がり、将来に良い結果が生まれると考えます。 | | | |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|--------------------------|-----|-------|
| 3. 外国人住民と関わりを深めたり、交流していきたいと思いませんか。(どれかひとつ) | 1 ぜひ関わりを深めていきたい・交流したい | 99 | 21.8% |
| | 2 日常で必要最低限の関わりだけはしたい | 222 | 48.9% |
| | 3 あまり関わりを深めたり、交流したいと思わない | 71 | 15.6% |
| | 4 関わりたくない | 9 | 2.0% |
| | 5 わからない | 53 | 11.7% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|-------------------------------|-----|-------|
| 4. 「あまり関わりを深めたり、交流したいと思わない」または「関わりたくない」と答えた方へお聞きします。なぜ、外国人住民と交流できないと感じますか。(複数回答可) | 1 言葉が通じずコミュニケーションが取れないから | 33 | 41.3% |
| | 2 関わりをもったことがなく何を考えているかわからないから | 19 | 23.8% |
| | 3 自分の生活と関わりがないから | 24 | 30.0% |
| | 4 ゴミ出し等の生活ルールを乱すから | 25 | 31.3% |
| | 5 生活習慣や文化が違うため上手く交流できないから | 27 | 33.8% |
| | 6 その他 | 5 | 6.3% |
| <ul style="list-style-type: none"> ・近くに外国人がいないのでわからないが、日本のルールを守れないなど、日本に溶け込もうとしない人だったら受け入れられない。 ・犯罪に手を染める人が多いため。 | | | |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|------------------------|------|-------|
| 5. 日本人住民と外国人住民がともに安心して暮らせる社会にするため、地域に住む外国人住民にどのようなことを期待しますか。(複数回答可) | 1 日常生活のルールや習慣を守って欲しい | 380 | 83.7% |
| | 2 日本語や日本の文化を学んで欲しい | 206 | 45.4% |
| | 3 地域との交流や活動に参加して欲しい | 180 | 39.6% |
| | 4 外国の文化や習慣などを教えて欲しい | 113 | 24.9% |
| | 5 地域での生活で感じたことを話して欲しい | 148 | 32.6% |
| | 6 近所の人とのあいさつや声掛けをして欲しい | 202 | 44.5% |
| | 7 特になし | 12 | 2.6% |
| 8 その他 | 4 | 0.9% | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・日本が好きでいて、日本を愛すること。 ・日本で暮らす以上日本の文化や慣習に従うべき。外国人が日本の構成員とならなくても、日本人は日本の文化を守り続けて、発展し、安心した暮らしができる。 | | | |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---|----------------------------------|-----|-------|
| 6. 日本人住民と外国人住民がともに安心して暮らせる社会にするため、あなたを含め日本人住民はどのように取り組むべきだと思いますか。(複数回答可) | 1 外国人住民の文化や習慣等の違いについて理解を深める | 279 | 61.5% |
| | 2 国際理解の講座や外国人との交流イベント等に参加する | 63 | 13.9% |
| | 3 地域に住む外国人住民にあいさつをするなど日常的な関わりを持つ | 258 | 56.8% |
| | 4 町内会の行事などの活動に外国人住民の参加を働きかける | 176 | 38.8% |
| | 5 外国人住民に対する偏見をなくし積極的に交流する | 143 | 31.5% |
| | 6 日頃から外国人住民とコミュニケーションを取る | 157 | 34.6% |
| | 7 特になし | 45 | 9.9% |
| | 8 その他 | 11 | 2.4% |
| <ul style="list-style-type: none"> ・外国人が日本を理解し、日本に溶け込む努力をしているならば、偏見を捨てて付き合う(交流する)ことが大切。 ・自分が他国で暮らすことになった場合、現地の人がどのように関わってくれたら嬉しいかを考えてみるとよいのではないかな。 ・何故外国人と共生が必要なのか、理解できない。 ・外国人を呼び込んでいる組織(国、自治体、会社等)が責任をもって日本語、文化、慣習を教えることが必要。 ・基本的に皆平等であり、お互いに尊重が必要である。 | | | |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|--|-----|-------|
| 7. 日本人住民と外国人住民が共に安心して暮らせる社会にするため、行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答可) | 1 外国人住民に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いについて周知する | 363 | 80.0% |
| | 2 外国人住民の相談体制や多言語による情報提供を充実させる | 231 | 50.9% |
| | 3 外国人住民(おとな、子ども)への日本語学習を支援する | 199 | 43.8% |
| | 4 外国人住民を支援するボランティアを募集、育成する | 73 | 16.1% |
| | 5 日本人住民と外国人住民との交流の機会をつくる | 179 | 39.4% |
| | 6 日本人に対し、多文化共生の意識啓発等を行う | 107 | 23.6% |
| | 7 日本人住民と外国人住民が地域活動に参加するよう促す | 132 | 29.1% |
| | 8 特にない | 11 | 2.4% |
| | 9 その他 | 15 | 3.3% |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・悪いことをする外国人の入国を禁止し、また外国人の受入人数も制限してほしい。 ・何もしなくて良い ・SNSで外国語による情報発信を行ったり、日本人住民と外国人住民が双方の言語を教え合ったりするなど、ことばの面でサポートする。 ・外国人住民がいる町内会の状況を、他の町内会に共有する。 ・お互いの文化の違いを明確にしてほしい。 | | |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|---------------------|-----|-------|
| 8. 外国人とコミュニケーションをとるために、長い文章を短くしたり、簡単な言葉に言い換えたりする「やさしい日本語」についてご存知ですか。(どれかひとつ) | 1 知っていて、使ったことがある | 47 | 10.4% |
| | 2 知っているが、使ったことはない | 71 | 15.6% |
| | 3 聞いたことはあるが、内容は知らない | 79 | 17.4% |
| | 4 知らない | 256 | 56.4% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|---------|-----|-------|
| 9. あなたは白山市国際交流サロン(松任文化会館ピーノ2階)の存在を知っていますか。 | 1 知っている | 236 | 52.0% |
| | 2 知らない | 218 | 48.0% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---|-------------|-----|-------|
| 10. 「知っている」と答えた方にお聞きします。市国際交流サロンのイベントや行事等に参加したことはありますか。 | 1 参加したことがある | 52 | 22.0% |
| | 2 参加したことはない | 184 | 78.0% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---|--|-----|-------|
| 11. 「参加したことがある」と答えた方にお聞きします。どのような行事か教えてください。(複数選択可) | 1 はくさん国際交流まつり(10月開催) | 34 | 65.4% |
| | 2 多文化カフェ(海外の紹介) | 18 | 34.6% |
| | 3 世界の料理教室等の交流 | 10 | 19.2% |
| | 4 バーベキュー等のイベント交流 | 13 | 25.0% |
| | 5 バドミントン等のスポーツ交流 | 10 | 19.2% |
| | 6 英会話等の外国語講座 | 10 | 19.2% |
| | 7 その他 | 13 | 25.0% |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・子供向けのイベント(ハロウィンやクリスマスなど) ・JAPAN TENTなどで、留学生の受入をした。 ・ワークショップ | | |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---|---------|-----|-------|
| 12. 「参加したことがある」と答えた方にお聞きします。市国際交流サロンでは外国人住民向けに日本語教室を行っています。知っていますか。 | 1 知っている | 39 | 75.0% |
| | 2 知らない | 12 | 23.1% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---|----------------------|-----|-------|
| 13. 市国際交流サロンを「知らない」、または行事等に「参加したことはない」と答えた方にお聞きします。今後、市国際交流サロンやその行事等に行ってみたく思いますか。(どれかひとつ) | 1 行ってみたい | 61 | 15.3% |
| | 2 特に行きたいと思わない | 253 | 63.6% |
| | 3 行かないが外国人住民に教えてあげたい | 84 | 21.1% |

【回答者について】

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---------------------|----------|-----|-------|
| 14. あなたの性別をお答えください。 | 1 男性 | 356 | 78.4% |
| | 2 女性 | 88 | 19.4% |
| | 3 答えたくない | 8 | 1.8% |
| | 未回答 | 2 | 0.4% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---------------------|---------|-----|-------|
| 15. あなたの年齢をお答えください。 | 1 29歳以下 | 9 | 2.0% |
| | 2 30歳代 | 19 | 4.2% |
| | 3 40歳代 | 51 | 11.2% |
| | 4 50歳代 | 119 | 26.2% |
| | 5 60歳代 | 161 | 35.5% |
| | 6 70歳以上 | 93 | 20.5% |
| | 未回答 | 2 | 0.4% |

16. お住まいはどこですか。()に地区名を記入してください。

| 設 問 | 松任 | 石川 | 柏野 | 笠間 | 宮保 | 一木 | 出城 | 御手洗 | 旭 |
|-----|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 回答数 | 51 | 13 | 7 | 9 | 8 | 10 | 22 | 9 | 17 |
| 割合 | 11.2% | 2.9% | 1.5% | 2.0% | 1.8% | 2.2% | 4.8% | 2.0% | 3.7% |

| 設 問 | 中奥 | 林中 | 郷 | 山島 | 千代野 | 加賀野 | 美川 | 蝶屋 | 湊 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 回答数 | 26 | 16 | 6 | 13 | 17 | 10 | 23 | 9 | 13 |
| 割合 | 5.7% | 3.5% | 1.3% | 2.9% | 3.7% | 2.2% | 5.1% | 2.0% | 2.9% |

| 設 問 | 一ノ宮 | 鶴来 | 蔵山 | 林 | 館畑 | 河内 | 吉野谷 | 鳥越 | 尾口 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 回答数 | 10 | 26 | 20 | 18 | 18 | 15 | 5 | 23 | 5 |
| 割合 | 2.2% | 5.7% | 4.4% | 4.0% | 4.0% | 3.3% | 1.1% | 5.1% | 1.1% |

| 設 問 | 白峰 | 白山麓 | 秘密 | 解読不可 | 無回答 | 市外 |
|-----|------|------|------|------|------|------|
| 回答数 | 5 | 4 | 2 | 2 | 6 | 16 |
| 割合 | 1.1% | 0.9% | 0.4% | 0.4% | 1.3% | 3.5% |

| | 回 答 |
|-------|--|
| 自由記載欄 | <p>(積極的な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールやマナーを指導してほしいし、外国人住民にはそれらをしっかり守って欲しい。 ・不安などをなくすためにも、外国人住民は日本語を身に着けてほしい。 ・馴染めない外国人がいたら、援助してあげたい。 ・同じ地球人として、国籍に関係なく、仲良く暮らしていけるようま地域づくりを目指したい。 ・違う国の食・習慣などの文化を知ることはよいことだと思う。 ・翻訳アプリなどを利用したり、身ぶり手ぶりを使いながら話したりして、かかわりを持つ頃は当たり前だと思う。 ・働きに来ている外国人住民は、今現在の日本にとってなくてはならない存在なので、もっと大事にしてほしい。多文化共生は、全員が学ぶべきことだと思う。 ・地区住民がメインで取り組んでいく必要があると思います。 <p>(消極的な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生は必要ないと思う。 ・多文化共生は、国が亡びる一歩であると考えべきである。 ・ルールを守らない外国人は来て欲しくない。 |

3. 外国人住民対象アンケート結果

実施期間 2025年12月25日～2026年2月5日

調査方法 アンケート郵送、メール発信

市内18歳以上の外国人住民2,141名から抽出した人及び、外国人コミュニティリーダー、市国際交流サロンを利用する外国人住民等計539名に調査を依頼。

回答数 全体で232人からの回答があった。(回答率は43.0%)

<質問ごとの回答状況>

【生活全般について】

| | 設問 | 回答数 | 割合 |
|--|-----------------------------------|-----|-----|
| 1. 普段の生活で困っていることや不安に思っていることは何ですか。(あてはまるもの上位3つを選択) | 1 言葉の問題 | 105 | 45% |
| | 2 日本の生活習慣 | 32 | 14% |
| | 3 病気やけがの時の対処のしかた(病院へ行くときなど) | 57 | 25% |
| | 4 市のことや行政サービスなど、必要な情報が入ってこない | 31 | 14% |
| | 5 住宅のこと(家賃が高い、住宅を借りられないなど) | 39 | 17% |
| | 6 仕事のこと(就労条件や職場環境が悪い、働く場所が無いなど) | 10 | 4% |
| | 7 こどもの子育てや教育のこと(保育園や学校、健康診断のことなど) | 12 | 5% |
| | 8 災害や緊急事態(火事や急病)への対応のしかた | 64 | 28% |
| | 9 近所つきあいのしかた、地域とのつながりが持てない | 37 | 16% |
| | 10 友人が少ない | 48 | 21% |
| | 11 相談する相手がいない | 9 | 4% |
| | 12 その他(無記入含む) | 22 | 9% |
| ・交通手段が少ない ・生活費と食費は高すぎるのに、給料は上がらず、税金も多すぎます。円安も急激に進んでいます。 | | | |

| | 設問 | 回答数 | 割合 |
|---------------------------------------|------------------|-----|-----|
| 2. 生活に必要な情報をどこで手に入れますか。(あてはまるもの全てを選択) | 1 家族や親族 | 55 | 24% |
| | 2 友達 | 104 | 45% |
| | 3 地域の日本人 | 60 | 26% |
| | 4 インターネット | 172 | 74% |
| | 5 SNS | 88 | 38% |
| | 6 日本語のテレビ | 25 | 11% |
| | 7 日本語以外の言語のテレビ | 18 | 8% |
| | 8 学校や会社 | 73 | 31% |
| | 9 日本語教室 | 14 | 6% |
| | 10 自分の国などのコミュニティ | 57 | 25% |
| | 11 市役所などの公的機関 | 33 | 14% |
| | 12 その他(無記入含む) | 6 | 3% |

【子育てや教育について】

| | 設問 | 回答数 | 割合 |
|--|--------------------------------|-----|-----|
| 3. 現在18才以下の子どもと同居している人にお尋ねします。子育てやこどもの教育での心配ごとは何ですか？(あてはまるもの上位3つを選択) | 1 乳幼児検診や予防接種の案内などが日本語でよくわからない | 16 | 7% |
| | 2 こどものことについて相談できる人や窓口がない、わからない | 14 | 6% |
| | 3 こどもを預かってくれるところがない | 8 | 3% |
| | 4 保育施設や学校からのお知らせが理解できない | 3 | 1% |
| | 5 子育ての習慣や環境が母国と違う | 16 | 7% |
| | 6 こどもが日本語を理解できていない | 6 | 3% |
| | 7 こどもが学校の授業についていけない | 6 | 3% |
| | 8 学費・授業料が高い | 2 | 1% |
| | 9 学校の規則や慣習になじめない | 1 | 0% |
| | 10 こどもがいじめられている | 3 | 1% |
| | 11 こどもに友達ができない | 5 | 2% |
| | 12 今後の進学が不安 | 13 | 6% |
| | 13 母国語や母国の文化が学べない | 9 | 4% |
| | 14 特に心配ごとはない | 62 | 27% |
| | 15 その他(無記入含む) | 46 | 20% |

【医療について】

| | 設 問 | 回答数 | 割合 |
|---|--|-----|-----|
| 4. 病院で困ったことや不満に思っていることがありますか。(あてはまるもの上位3つを選択) | 1 病院についての情報が少ない (どこの病院へ行けばいいかわからない) | 72 | 31% |
| | 2 診察時の医師や看護師とのコミュニケーションがとれない | 61 | 26% |
| | 3 病院での手続きが面倒でわからない | 34 | 15% |
| | 4 医療費が高い | 37 | 16% |
| | 5 健康保険に加入していない | 1 | 0% |
| | 6 特に心配ごとはない | 126 | 54% |
| | 7 その他(無記入含む) | 11 | 5% |
| | ・子ども向けのセラピーやカウンセリングを見つけるのが難しい | | |

【ごみ収集について】

| | 設 問 | 回答数 | 割合 |
|--|-------|-----|-----|
| 5. ごみ収集についてあなたは、ごみの分別の仕方や収集日を理解していますか。 | 1 はい | 225 | 97% |
| | 2 いいえ | 7 | 3% |

| | 設 問 | 回答数 | 割合 |
|---|---------------------|-----|-----|
| 5-1. 「いいえ」と答えた方は、その理由は何ですか？(あてはまるものを選択) | 1 言葉がわからない | 0 | 0% |
| | 2 情報がない | 3 | 43% |
| | 3 家族や友人がやっているの、必要ない | 3 | 43% |
| | 4 その他(無記入含む) | 1 | 14% |

| | 設 問 | 回答数 | 割合 |
|---|----------------------------|-----|----|
| 5-2. 上の質問で1と2を答えた人は何を望みますか。(あてはまるもの全てを選択) | 1 ごみ収集に関する母国語での詳しい情報がほしい | 3 | 1% |
| | 2 ごみ収集に関する説明会をしてほしい | 1 | 0% |
| | 3 わからない場合、聞くことができる人や窓口がほしい | 1 | 0% |
| | 4 その他 | 0 | 0% |

【災害(地震、津波、豪雨など)について】

| | 設 問 | 回答数 | 割合 |
|---|---------------------------------|-----|-----|
| 6. 災害や緊急時にに関して不安なことは何ですか。(あてはまるもの全てを選択) | 1 災害時に多言語で情報が入るようにしてほしい | 109 | 47% |
| | 2 災害時の避難場所がわからない | 88 | 38% |
| | 3 火事、急病など緊急時の対処がわからない、連絡先がわからない | 56 | 24% |
| | 4 災害時、緊急時のコミュニケーションが不安だ | 84 | 36% |
| | 5 特に不安なことはない | 64 | 28% |
| | 6 その他(無記入含む) | 4 | 2% |
| | ・日本に家族が居ないから、災害の時に支援してくれる人が居ない。 | | |

【行政サービスについて】

| | 設 問 | 回答数 | 割合 |
|---|-------|-----|-----|
| 7. 市役所などの窓口で、職員とのコミュニケーションに困ったことはありますか。 | 1 はい | 58 | 25% |
| | 2 いいえ | 174 | 75% |

| | 設 問 | 回答数 | 割合 |
|--|-----------------------------------|-----|-----|
| 7-1「はい」と答えた方は、どのようなことでしたか。(あてはまるもの全てを選択) | 1 職員が話す日本語が難しかった(「やさしい日本語」ではなかった) | 20 | 34% |
| | 2 職員の話すスピードが速くて、聞き取るのが難しかった | 16 | 28% |
| | 3 母語で会話ができなかったため、内容を理解できなかった | 24 | 41% |
| | 4 書類の日本語が難しく、書き方が分からなかった | 27 | 47% |
| | 5 手続きの内容が難しく、分からなかった | 11 | 19% |
| | 6 その他(無記入含む) | 4 | 7% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|---|-----|-----|
| 8. 今後、どのような行政サービスを望みますか。(あてはまるもの全てを選択) | 1 市広報・お知らせ、ホームページの多言語化 (利用できる公共施設やサービスの情報提供) | 110 | 47% |
| | 2 困ったときに相談ができる市役所の窓口 | 52 | 22% |
| | 3 日常生活を助けてくれる支援ボランティアの派遣 (病院や買い物への付き添いなど) | 40 | 17% |
| | 4 学校、病院、市役所等に同行してくれる 通訳ボランティアや翻訳ボランティアの派遣 | 51 | 22% |
| | 5 外国人と日本人が交流できるイベントなどの開催 | 64 | 28% |
| | 6 外国人住民が日本語を学ぶための教室の開設や支援を行う | 74 | 32% |
| | 7 特にない | 63 | 27% |
| | 8 その他(無記入含む) | 8 | 3% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---|-------------------|-----|-----|
| 9. 白山市は、多言語の「外国人住民向け白山市生活ガイドブック」を作成し、転入の際などに配布しています。このガイドブックを知っていますか？ | 1 知っていて、読んだことがある | 73 | 31% |
| | 2 知っているが、読んだことはない | 33 | 14% |
| | 3 知らない | 126 | 54% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|-------------------------|--------------|-----|-----|
| 10. これからも白山市に住み続けたいですか。 | 1 白山市に住み続けたい | 190 | 82% |
| | 2 別の市に移りたい | 8 | 3% |
| | 3 わからない | 29 | 13% |
| | 4 母国に帰りたい | 5 | 2% |

設問10「1 白山市に住み続けたい」の内訳

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|---------------------|-----------------------------|-----|
| 11. 10の回答を選んだ理由をお答えください。(あてはまるもの1つを選択) | 1 生活が便利だから | 95 | 50% |
| | 2 生活が不便だから | 1 | 1% |
| | 3 周りに同じ国の人が多いから | 10 | 5% |
| | 4 周りに同じ国の人が少ないから | 6 | 3% |
| | 5 地域の日本人との交流がしやすいから | 8 | 4% |
| | 6 地域の日本人との交流がしにくいから | 3 | 2% |
| | 7 白山市に良い仕事があるから | 55 | 29% |
| | 8 白山市に良い仕事がないから | 1 | 1% |
| | 9 その他(無記入含む) | 11 | 6% |
| | | ・生活をより便利にしたい ・伝統文化・自然が豊か | |

設問10「2 別の市に移りたい」の内訳

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|---------------------|-----|-----|
| 11. 10の回答を選んだ理由をお答えください。(あてはまるもの1つを選択) | 1 生活が便利だから | 1 | 13% |
| | 2 生活が不便だから | 2 | 25% |
| | 3 周りに同じ国の人が多いから | 0 | 0% |
| | 4 周りに同じ国の人が少ないから | 0 | 0% |
| | 5 地域の日本人との交流がしやすいから | 0 | 0% |
| | 6 地域の日本人との交流がしにくいから | 0 | 0% |
| | 7 白山市に良い仕事があるから | 1 | 13% |
| | 8 白山市に良い仕事がないから | 4 | 50% |
| | 9 その他(無記入含む) | 0 | 0% |

設問10「3 わからない」の内訳

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|---------------------------------------|-----|-----|
| 11. 10の回答を選んだ理由をお答えください。(あてはまるもの1つを選択) | 1 生活が便利だから | 6 | 21% |
| | 2 生活が不便だから | 3 | 10% |
| | 3 周りに同じ国の人が多いから | 1 | 3% |
| | 4 周りに同じ国の人が少ないから | 6 | 21% |
| | 5 地域の日本人との交流がしやすいから | 2 | 7% |
| | 6 地域の日本人との交流がしにくいから | 2 | 7% |
| | 7 白山市に良い仕事があるから | 5 | 17% |
| | 8 白山市に良い仕事がないから | 0 | 0% |
| | 9 その他(無記入含む) | 4 | 14% |
| | ・母国の方が収入が多い ・スーパーマーケットに近い都市に引っ越したい | | |

設問10「4 母国に帰りたい」の内訳

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|---------------------|-----|-----|
| 11. 10の回答を選んだ理由をお答えください。(あてはまるもの1つを選択) | 1 生活が便利だから | 1 | 20% |
| | 2 生活が不便だから | 1 | 20% |
| | 3 周りに同じ国の人が多いから | 0 | 0% |
| | 4 周りに同じ国の人が少ないから | 0 | 0% |
| | 5 地域の日本人との交流がしやすいから | 0 | 0% |
| | 6 地域の日本人との交流がしにくいから | 0 | 0% |
| | 7 白山市に良い仕事があるから | 0 | 0% |
| | 8 白山市に良い仕事がないから | 0 | 0% |
| | 9 その他(無記入含む) | 3 | 60% |
| | ・家族の近くにいたいから | | |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--------------------|-------------------|-----|-----|
| 12. 地域の日本人と話をしますか。 | 1 ほぼ毎日話をする | 36 | 16% |
| | 2 たまに話をする | 59 | 25% |
| | 3 挨拶はするが、話はあまりしない | 95 | 41% |
| | 4 ほとんど話さない | 42 | 18% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---|------------------------------|-----|-----|
| 13. あなたは地域の日本人とどのように交流したいですか。(あてはまるもの全てを選択) | 1 地域の行事に参加したりして、交流したい | 91 | 39% |
| | 2 普段の生活で相談に乗ってほしい | 30 | 13% |
| | 3 地域のルールや、日本の文化、社会について教えてほしい | 61 | 26% |
| | 4 日本語の勉強相手になってほしい | 64 | 28% |
| | 5 地震や台風などの災害の時に、助けてほしい | 82 | 35% |
| | 6 特に交流したいと思わない | 44 | 19% |
| | 7 その他(無記入含む) | 6 | 3% |
| ・日本の文化、習慣をもっと知りたい | | | |

【白山市国際交流協会・白山市国際交流サロンについて】

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|-----------------------------|-----|-----|
| 14. あなたは白山市国際交流協会や国際交流サロンが行うイベントに参加したことがありますか？ | 1 はい | 46 | 20% |
| | 2 いいえ | 100 | 43% |
| | 3 白山市国際交流協会や国際交流サロンを知らなかった。 | 86 | 37% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--------------------------------|-----------|-----|-----|
| 15. 今後、国際交流イベントや行事に参加してみたいですか。 | 1 はい | 102 | 44% |
| | 2 いいえ | 49 | 21% |
| | 3 どちらでもよい | 81 | 35% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|-----------------------------------|----------------|-----|-----|
| 16. 市国際交流サロンで日本語教室をしています。知っていますか。 | 1 通っている | 25 | 11% |
| | 2 知っているが通っていない | 57 | 25% |
| | 3 知らない | 150 | 65% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|-------------------------------|----------------|-----|-----|
| 16-1 「知らない」方は今後、行ってみたいと思いますか。 | 1 行ってみたい | 51 | 34% |
| | 2 行きたくない | 23 | 15% |
| | 3 行きたいが行けないと思う | 76 | 51% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---|--------------------------------|-----|-----|
| 16-2 「行きたいが行けないと思う」理由は何ですか。(あてはまるもの全てを選択) | 1 交通手段がない | 20 | 26% |
| | 2 家族の理解が得られない | 1 | 1% |
| | 3 行く時間がない | 64 | 84% |
| | 4 その他(無記入含む) ・住んでいるアパートから遠い | 6 | 8% |

【回答者について】

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---------------------|----------|-----|-----|
| 17. あなたの性別をお答えください。 | 1 男性 | 146 | 63% |
| | 2 女性 | 83 | 36% |
| | 3 答えたくない | 3 | 1% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---------------------|-----------|-----|-----|
| 18. あなたの年齢をお答えください。 | 1 18才～19才 | 5 | 2% |
| | 2 20才～29才 | 133 | 57% |
| | 3 30才～39才 | 64 | 28% |
| | 4 40才～49才 | 22 | 9% |
| | 5 50才～59才 | 5 | 2% |
| | 6 60才以上 | 3 | 1% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---|-----------------|-----|-----|
| 19. あなたの国籍をお答えください。 | 1 ベトナム | 124 | 53% |
| | 2 インドネシア | 19 | 8% |
| | 3 中国 | 18 | 8% |
| | 4 フィリピン | 25 | 11% |
| | 5 ミャンマー | 14 | 6% |
| | 6 韓国 | 3 | 1% |
| | 7 タイ | 6 | 3% |
| | 8 ブラジル | 2 | 1% |
| | 9 バングラデシュ | 4 | 2% |
| | 10 その他(無記入1名含む) | 17 | 7% |
| (その他)アメリカ、イギリス、オーストラリア、インド、イタリア、キューバ、カナダ、モンゴル、スリランカ、台湾、ナイジェリア | | | |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|---------------|-----|-----|
| 20. あなたと一緒に住んでいる方を教えてください。(あてはまるもの全てを選択) | 1 一人暮らし | 43 | 19% |
| | 2 親 | 5 | 2% |
| | 3 結婚相手 | 41 | 18% |
| | 4 こども | 27 | 12% |
| | 5 兄弟、姉妹 | 4 | 2% |
| | 6 孫 | 0 | 0% |
| | 7 その他親戚 | 5 | 2% |
| | 8 友人、恋人 | 27 | 12% |
| | 9 会社の同僚 | 116 | 50% |
| | 10 その他(無記入含む) | 5 | 2% |

| | 設 問 | 回答数 | 割合 |
|------------------------|------------|-----|-----|
| 21. 白山市にはどのくらい住んでいますか。 | 1 1年未満 | 55 | 24% |
| | 2 1～3年未満 | 88 | 38% |
| | 3 3～5年未満 | 35 | 15% |
| | 4 5年～10年未満 | 38 | 16% |
| | 5 10年以上 | 16 | 7% |

| | 設 問 | 回答数 | 割合 |
|-----------------------|------------------------|-----|-----|
| 22. あなたの在留資格をお答えください。 | 1 技能実習 | 83 | 36% |
| | 2 特定技能 | 90 | 39% |
| | 3 永住者・永住者の配偶者等 | 21 | 9% |
| | 4 技術・人文知識・国際業務 | 19 | 8% |
| | 5 特定活動 | 4 | 2% |
| | 6 特別永住者 | 2 | 1% |
| | 7 家族滞在 | 4 | 2% |
| | 8 日本人の配偶者等 | 6 | 3% |
| | 9 留学 | 0 | 0% |
| | 10 その他(無記入含む) ・介護ビザ | 3 | 1% |

| | 設 問 | 回答数 | 割合 |
|-------------------------------------|--------------|-----|-----|
| 23. 日常的に使っている言語は何ですか？(あてはまるもの全てを選択) | 1 日本語 | 191 | 46% |
| | 2 英語 | 49 | 12% |
| | 3 中国語 | 14 | 3% |
| | 4 ベトナム語 | 99 | 24% |
| | 5 タガログ語 | 24 | 6% |
| | 6 スペイン語 | 1 | 0% |
| | 7 ポルトガル語 | 3 | 1% |
| | 8 インドネシア語 | 17 | 4% |
| | 9 その他(無記入含む) | 15 | 4% |

| | 回 答 |
|--|--|
| 24. 自由記載欄(白山市や日本に住んでみて、感想や意見があれば書いてください) | <p>(良い意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白山市はとても住みやすい場所で、非常にきれいです。地元の日本人はとても優しく、特に車を運転する人々は親切です。ほとんどの人は自転車に乗る私たち外国人住民に対してもとても気を使ってくれます。 ・白山は住むのに良い街だと思います。居心地が良く、人々も親切です。 ・白山市は静かで、長く住みたいと思う場所です。美しい景色のある日本が大好きです。白山市と日本の同僚から受けたサポートに感謝しています。ありがとうございます。 ・日本は先進国です。人々はとても謙虚で礼儀正しく、気さくです。だからこそ、この国に長く住み続けたいと思っています。 ・白山市はとても美しい街です。特に私が今住んでいるところは、日本人がとても親切でフレンドリーです。ここの人たちと交流したいのですが、言葉の壁がまだあって流暢に話せないで、今は語学力を向上させたいと思っています。 <p>(困っていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の季節には自転車の安全な道路がないため、少し困っています。この点が改善されることを期待しています。 ・社会保障、インフラ面においては住みやすいです。日本の方との交流は、やっぱり文化、習慣の違いでちょっと難しい所もあります。後はみんな同じだと思うけど、物価の急な上がりでちょっと困ってます。 ・子供の将来の事や 今住んでいる場所のイベントの情報がほぼわからない状態です。イベントなどに参加したくても、情報を得ることができず、少し寂しくて、孤立していると感じます。 ・市役所や病院に色々な言語の話せるスタッフがいると、相談しやすくていいなと思います。 ・快適に暮らしているけれど、時々寂しさを感じます。友達がいないんです。周りの人とも全然話さない。寂しいんです。職場の人としか話さない。友達が欲しい。お祭りにも行かないから、一緒にいきたい。 |

4. 企業対象アンケート結果

実施期間 2026年1月5日～2026年2月5日

調査方法 アンケート郵送、メール発信

協力確認書を提出している企業・団体及び、他の調査で外国人労働者を雇用すると答えた企業等計166へ調査を依頼。

回答数 全体で52社からの回答があった。(回答率は約31.3%)

<質問ごとの回答状況>

【会社について】

| | 国名 | 人数 | 割合 |
|--|---------|------|-------|
| 1. 御社で雇用している外国人労働者の国籍、人数をお教えてください。(令和7年12月末時点) | ベトナム | 656 | 52.6% |
| | インドネシア | 214 | 17.1% |
| | ミャンマー | 126 | 10.1% |
| | フィリピン | 80 | 6.4% |
| | 中国 | 55 | 4.4% |
| | タイ | 43 | 3.4% |
| | ブラジル | 21 | 1.7% |
| | 韓国 | 14 | 1.1% |
| | バングラデシュ | 13 | 1.0% |
| | ペルー | 11 | 0.9% |
| | ネパール | 5 | 0.4% |
| | 台湾 | 3 | 0.2% |
| | 北朝鮮 | 2 | 0.2% |
| | パキスタン | 2 | 0.2% |
| | ボリビア | 1 | 0.1% |
| イタリア | 1 | 0.1% | |
| スリランカ | 1 | 0.1% | |

| | 設問 | 回答数 | 割合 |
|-----------------------------|----------|-----|-----|
| 2. 御社では外国人労働者への研修等を行っていますか。 | 1 行っている | 41 | 79% |
| | 2 行っていない | 11 | 21% |

| | 設問 | 回答数 | 割合 |
|---|--------------------|-----|-----|
| 3. 「行っている」とお答えの方にお聞きします。研修等はどなたが行っていますか。(複数回答可) | 1 自社担当者が直接行っている | 27 | 66% |
| | 2 監理団体等が行っている | 29 | 71% |
| | 3 外部機関等に依頼・委託している。 | 3 | 7% |
| | 4 その他 | 0 | 0% |

| | 設問 | 回答数 | 割合 |
|--|---------------------|-----|-----|
| 4. 「行っている」とお答えの方にお聞きします。研修等の内容をお答えください。(複数回答可) | 1 日本語の教育 | 29 | 71% |
| | 2 災害時の避難など防災について | 24 | 59% |
| | 3 自転車ルールなど交通安全について | 31 | 76% |
| | 4 ゴミ出しルールなど生活習慣について | 33 | 80% |
| | 5 その他 | 7 | 17% |
| | ・業務内容 | | |
| | ・塗装技能 | | |
| | ・食品製造の衛生研修 | | |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---|--|-----|-----|
| 5. 「行っていない」とお答えの方にお聞きします。その理由をお教えてください。 | 1 行う方法、やり方が分からない | 2 | 18% |
| | 2 行う内容がわからない | 1 | 9% |
| | 3 行う必要がない | 5 | 45% |
| | 4 その他 | 3 | 27% |
| | ・改まった研修形式は行っていないが、都度監理団体を通じて生活習慣やルールなどのレクチャーを実施している。 ・ベトナムの人だけで特別のものはない。社内研修は日本人と同等に行う。 | | |

【社内における外国人労働者との関わりについて】

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---|------------------|-----|-----|
| 6. 御社では外国人労働者(技能実習生を含む)と日本人雇用者が社内で会話する機会がありますか。 | 1 たくさんある | 36 | 69% |
| | 2 少しある | 15 | 29% |
| | 3 あまりない | 1 | 2% |
| | 4 全くない | 0 | 0% |
| | 5 わからない(把握していない) | 0 | 0% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|---------------------|-----|-----|
| 7. 「たくさんある」「少しある」とお答えの方にお聞きします。どのような場面で関わりがありますか。(複数回答可) | 1 就業中、業務や作業などで会話する | 40 | 77% |
| | 2 ミーティングや打合せ時に会話する | 26 | 50% |
| | 3 休憩時、昼食時などで会話する | 30 | 58% |
| | 4 会社のレクリエーション等で会話する | 21 | 40% |
| | 5 就業時以外でも日常的に会話する | 22 | 42% |
| | 6 その他 | 1 | 2% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|-----------------------|-----|-----|
| 8. 外国人を雇用して、労働力以外の面で良かったと思うことは何ですか。(複数回答可) | 1 外国の文化、習慣を学ぶ機会ができた | 27 | 52% |
| | 2 外国人の友人・知人ができた | 8 | 15% |
| | 3 社内に活気が出た | 21 | 40% |
| | 4 日本の日常ルール等を再確認できた | 12 | 23% |
| | 5 外国人に接することで多文化理解が進んだ | 26 | 50% |
| | 6 特にない | 7 | 13% |
| | 7 その他 | 1 | 2% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|---------------------------|-----|-----|
| 9. 外国人労働者の雇用において心配や不安に感じることは何ですか。(複数回答可) | 1 日本語でコミュニケーションが取りにくい | 33 | 63% |
| | 2 文化や生活習慣等が異なることで意見の相違がでる | 15 | 29% |
| | 3 受け入れた職場の負担が大きい | 20 | 38% |
| | 4 離職、転職が懸念される、定着しない | 12 | 23% |
| | 5 住居確保や生活環境の整備にコストがかかる | 34 | 65% |
| | 6 入国審査、在留資格の制度が分かりにくい | 14 | 27% |
| | 7 特にない | 2 | 4% |
| | 8 その他 | 2 | 4% |
| ・上記全て懸念事項でしたが、今は特にありません。 ・JAIMの事務処理に時間がかかる。また、コストも高い。 | | | |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|------------------------------|-----|-----|
| 10. 外国人労働者のプライベート面で困った経験はありますか。(複数回答可) | 1 ゴミの分別、ゴミの出し方などのルールに関する事 | 25 | 48% |
| | 2 日常生活における声の大きさや物音、騒音に関する事 | 23 | 44% |
| | 3 交通ルール(自転車等の乗り方)に関する事 | 13 | 25% |
| | 4 共用スペースや公共の場(公園など)の使い方に関する事 | 8 | 15% |
| | 5 育児等の子どもに関する事 | 1 | 2% |
| | 6 特にない | 16 | 31% |
| | 7 その他 | 2 | 4% |
| ・近隣にスーパーやレクリエーション施設がなく、買い物やストレス発散が困難である。 ・気が付いた点は都度指導しているので、特に困った経験はないです。 | | | |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|------------------------|-----|-----|
| 11. 外国人との相互理解のために、外国人労働者に特に求めることは何ですか。(どれかひとつ) | 1 日本語を学び、会話できるようになる | 29 | 56% |
| | 2 日本の日常生活における習慣やルールを守る | 20 | 38% |
| | 3 地域の行事に積極的に参加する | 5 | 10% |
| | 4 母国の文化や習慣を教えて欲しい | 1 | 2% |
| | 5 特いない | 1 | 2% |
| | 6 その他 | 0 | 0% |

【多文化共生の地域づくりについて】

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|----------------------------------|-----|-----|
| 12. 日本人住民と外国人住民がともに安心して暮らせる社会にするため、御社を含め日本人住民はどのように取り組むべきだと思いますか。(複数回答可) | 1 外国人住民の文化や習慣等の違いについて理解を深める | 31 | 60% |
| | 2 国際理解の講座や外国人との交流イベント等に参加する | 5 | 10% |
| | 3 地域に住む外国人住民にあいさつをするなど日常的な関わりを持つ | 22 | 42% |
| | 4 町内会の行事などの活動に外国人住民の参加を働きかける | 10 | 19% |
| | 5 外国人住民に対する偏見をなくし積極的に交流する | 24 | 46% |
| | 6 日頃から外国人住民とコミュニケーションを取る | 20 | 38% |
| | 7 特いない | 3 | 6% |
| | 8 その他 | 2 | 4% |
| ・ルールを明確にし、守らない場合は罰則を与える | | | |
| ・外国人が日本のルールを遵守することを前提として、外国人に対する偏見をなくすこと | | | |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---|--------------------------------------|-----|-----|
| 13. 日本人住民と外国人住民が共に安心して暮らせる社会にするため、行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答可) | 1 外国人住民に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いについて周知する | 32 | 62% |
| | 2 外国人住民の相談体制や多言語による情報提供を充実させる | 26 | 50% |
| | 3 外国人住民(おとな、子ども)への日本語学習を支援する | 19 | 37% |
| | 4 外国人住民を支援するボランティアを募集、育成する | 5 | 10% |
| | 5 日本人住民と外国人住民との交流の機会をつくる | 18 | 35% |
| | 6 日本人に対し、多文化共生の意識啓発等を行う | 10 | 19% |
| | 7 日本人住民と外国人住民が地域活動に参加するよう促す | 12 | 23% |
| | 8 特いない | 2 | 4% |
| | 9 その他 | 0 | 0% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---|---------------------|-----|-----|
| 14. 外国人とコミュニケーションをとるために、長い文章を短くしたり、簡単な言葉に言い換えたりする「やさしい日本語」についてご存知ですか。(どれかひとつ) | 1 知っていて、使ったことがある | 15 | 29% |
| | 2 知っているが、使ったことはない | 7 | 13% |
| | 3 聞いたことはあるが、内容は知らない | 8 | 15% |
| | 4 知らない | 22 | 42% |

【白山市国際交流協会が運営する白山市国際交流サロンについて】

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---|---------|-----|-----|
| 15. あなたは白山市国際交流サロン(松任文化会館ピーノ2階)の存在を知っていますか。 | 1 知っている | 22 | 42% |
| | 2 知らない | 30 | 58% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---|-------------|-----|-----|
| 16. 「知っている」と答えた方にお聞きします。市国際交流サロンのイベントや行事等に参加したことはありますか。 | 1 参加したことがある | 3 | 14% |
| | 2 参加したことはない | 19 | 86% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|---|----------------------|-----|------|
| 17.「参加したことがある」と答えた方にお聞きます。どのような行事か教えてください。(複数選択可) | 1 はくさん国際交流まつり(10月開催) | 0 | 0% |
| | 2 多文化カフェ(海外の紹介) | 0 | 0% |
| | 3 世界の料理教室等の交流 | 0 | 0% |
| | 4 バーベキュー等のイベント交流 | 0 | 0% |
| | 5 パドミントン等のスポーツ交流 | 0 | 0% |
| | 6 英会話等の外国語講座 | 3 | 100% |
| | 7 その他 | 0 | 0% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|---------|-----|------|
| 18.「参加したことがある」と答えた方にお聞きます。市国際交流サロンでは外国人住民向けに日本語教室を行っていますか、知っていますか。 | 1 知っている | 3 | 100% |
| | 2 知らない | 0 | 0% |

| | 設 問 | 回答数 | 割 合 |
|--|----------------------|-----|-----|
| 19. 市国際交流サロンを「知らない」、または行事等に「参加したことはない」と答えた方にお聞きます。今後、市国際交流サロンやその行事等に行ってみたく思いますか。(どれかひとつ) | 1 行ってみたい | 3 | 6% |
| | 2 特に行きたいと思わない | 17 | 35% |
| | 3 行かないが外国人住民に教えてあげたい | 29 | 59% |

| | 回 答 |
|-------|--|
| 自由記載欄 | <p>・ホームページや広報紙でのお知らせがあっても、見に行かなければ知らないままになってしまいます。企業へのアナウンスをいただけるので、外国の方へお知らせしていきたいと思います。</p> <p>・外国人も日本人も同様に、国籍や文化の違いから、価値観の相違する点や戸惑いもある。法人の日本人職員も、外国人に対する偏見をなくし、相手に合わせた対応などができるように教育が必要かと思う。</p> <p>・ネット社会の発達や外国人の増加により、悪いことだとは思わないが、外国人のコミュニティが出来ており、特に地域との関わりがなくとも、日々の生活は難なく出来ている。このことが、日本のルールを守れないことの遠因の1つではないかと思う。</p> <p>一方で技能実習などで来日している外国人の多くは20代で、日本人の20代と比較しても、ルールを守るという点においてそれほど劣っているとは思えず、外国人というバイアスがかかり、偏見となっているのではないかと考えます。</p> <p>・国によって文化が異なり、マナーの良し悪しにも差がある。それぞれの国に合わせるのは難しい。</p> <p>・相互理解が必要だと思う</p> <p>・外国人同士が繋がることで、転職、離職の懸念がある。</p> <p>・サロンの場所が遠いです。電車やバス等にお金を使うことにためらいがあります。</p> <p>・外国人不可の物件が多く、住居を決めることが困難。数年前よりは改善されたと思うが、それでも契約するために時間と労力が必要。ゴミ出しルール、騒音への理解は、ベトナムと日本では差がある。まず受け入れた会社が、しっかりとベトナム人に伝え、部屋の見回りをするなど、責任を持つ必要がある。</p> |

5. 多文化共生ワークショップ結果

日 時 令和7年12月14日（日）午後1時30分～午後3時45分

場 所 松任文化会館ピーノ 201 研修室

参加者 外国人住民16人※+日本人住民10人+オブザーバー等4名

※8カ国（ベトナム、フィリピン、中国、台湾、米国、ブラジル、タイ、韓国）

<グループ別発表概要>

A班

● 「地 域」

- ・大型スーパーが近くにあり便利（車があると）
- ・海も山も近く、環境が良い
- ・国際交流サロンで日本語が学べてよかった
- ・車が無いと移動が不便だが、金沢市ほど混んでいない

- ・道路の白線が消えていて見えないところがある

● 「子育て・学校」

- ・児童手当をもらえる
- ・授業料が無料になって良かった
- ・保育園の入園が分かりにくい

● 「職 場」

- ・「外国人だから仕方ない」という雰囲気がある
- ・一人でもいいから、外国人に優しい日本人が職場にいてほしい
- ・外国人も馴染む努力が必要

● 「防 災」

- ・石川県は災害が少ないから危機感が薄い
- ・災害の情報を上手く理解できない（自分の家まで津波が来るかどうか、避難場所など）
- ・防災食の準備が大切



B班

● 「地 域」

- ・海が近くてリラックスできる
- ・自然が豊か（白山がきれいに見える、水が豊富）
- ・祭りがたくさんあって賑やかで良い
- ・近所の人があいさつしてくれる
- ・店員さんやお隣さんが優しい
- ・静かで空気がきれい
- ・会社から教えてもらって地域の祭りに行った
- ・スーパーまで自転車で15分かかる
- ・病院に行ったとき、症状の説明が難しい
- ・地域のイベントのお知らせやルールについての情報が欲しい

● 「子育て・学校」

- ・学校からのお便りが難しい
- ・子どもの夜間病院へのかかり方が分からない
- ・学校行事（入学式や卒業式など）の服装が分からない。

● 「職 場」

- ・会社の仲間との関係は良い



- ・言葉の壁を感じる（あいづちなどの文化も含めて）
- ・相互理解が必要と感じる
- ・外国人も職場で尊重してもらいたい（特に文化）

- 「防 災」

- ・避難場所に避難のマークがあり、分かりやすい
- ・車が無いので避難に不安、日本人と助け合えたら良い。

C班

- 「地 域」

- ・自然が多い
- ・伝統文化がたくさんある（太鼓、祭り）
- ・治安が良い
- ・医療施設が多い
- ・コミュニティバスの本数が少ない
- ・雪が降ると大変

- 「子育て・学校」

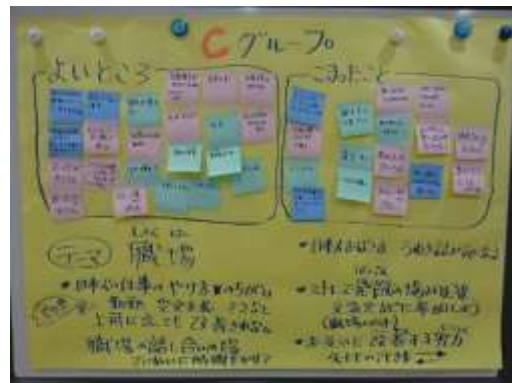
- ・福祉が充実している
- ・子育てしやすい
- ・子ども向けの無料イベントが多くある

- 「職 場」

- ・観光系の仕事が少ない
- ・賃金が低い
- ・日本人は完璧主義なので、仕事のやり方の違いにとまどう
- ・職場での噂話が気になる
- ・外国人・日本人がお互いに改善する努力が必要

- 「防 災」

- ・白山市は自然災害がまだ少ない



D班

- 「地 域」

- ・地域の行事に参加すると若いので喜んでくれる
- ・騒音で友だちが警察に通報された
- ・すぐに警察ではなく、直接注意してくれたら良い
- ・ゴミの出し方や回覧板の日本語が分からない。
- ・助けてくれる日本人がいると良い

- 「子育て・学校」

- ・予防接種が受けられる
- ・学校で日本語のサポートがある
- ・子どもを病院に連れて行ったとき、待ち時間が長くて困った
- ・これから家族滞在の外国人が増えたとき、外国人や宗教に理解のあるスタッフの配置が必要


- 「職 場」

- ・ゆっくり話してくれる
- ・ビザ申請などの書類を書く時に職場の人が手伝ってくれる
- ・学校で日本語のサポートがある

- 「防 災」

- ・能登半島地震の時に被災地支援に何回か行った。外国人ボランティアグループを作りたい。



| E 班 | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 「地 域」 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に参加している ・働きかけがあれば参加するが、逆に働きかけが無いと参加しない ・交通が不便 ・住居費が高い ・生活に関する情報を集約した、外国人向けの窓口があると良い ・運転免許切り替えが不便 ・ヴィーガンなど食の多様性に対応しているレストランが少ない ● 「子育て・学校」 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関する情報収集が難しい ・外国人児童への日本語支援が不十分 ● 「職 場」 <ul style="list-style-type: none"> ・職場への不満は無い ● 「防 災」 <ul style="list-style-type: none"> ・サイレンの意味が分からない。 ● 「その他」 <ul style="list-style-type: none"> ・法律やルールが変わった時に、情報が入ってこない。(自転車の乗り方や運転免許など) |  |

6. 多文化共生推進庁内連絡会

白山市多文化共生推進庁内連絡会を設置し、市部署間で横断的な連携を図り、各種取り組みの実施状況や対応事例、問題点などの情報共有を行っている。(設置：令和2年4月1日)

市関係部署 (設置要領 別表より)

| 部 名 | 課 名 |
|-----------|--|
| 総務部 | 総務課、管財課、危機管理課 |
| 企画振興部 | 企画課、協働推進課、シティプロモーション推進課 |
| 健康福祉部 | 生活支援課、障害福祉課、長寿介護課、保育こども園課、子育て支援課、保険年金課、いきいき健康課 |
| 市民生活部 | 市民課、地域安全課、環境課、市民相談室 |
| 産業部 | 商工課 |
| 建設部 | 建築住宅課 |
| 教育委員会 | 学校教育課、学校指導課、子ども総合相談室 |
| 観光文化スポーツ部 | 観光課、ジオパーク・エコパーク推進課、都市交流・多文化共生課 |

令和8年4月発行
白山市観光文化スポーツ部都市交流・多文化共生課
石川県白山市倉光二丁目1番地
TEL 076-274-9520